

Panasonic®

取扱説明書

工事説明付き

リモコンマイク

WR-205A

品番 WR-210A



上手に使って上手に節電

※イラストはWR-210Aです。

保証書別添付

このたびは、リモコンマイクをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

商品概要

本機は業務用途を目的とした各種音響装置（以下、主装置）用のリモコンマイクで、系統別放送や一斉放送を行うことができます。5回線用（WR-205A）と10回線用（WR-210A）があります。

- 本機の録音出力をICレコーダーなどに接続すると、マイクからメッセージの録音を行うことができます。
- マイクボタン、ラインボタンでマイクとラインの音声を選択して放送することができます。
- 主装置側に内蔵されたコールサインを、本機のコールサインボタンで鳴動することができます。
- 本機を複数接続した場合、リモコンマイク間で優先順位を設定できる個別優先機能があります。ラック形音響装置（WL-7100/7600）に接続したときは、個別優先の設定はできません。
- 本機の使用状況は、使用中表示灯で確認することができます。
- 本機を音声調整卓、ラック形非常用放送設備および業務放送システムに接続したときは、別売の増設ユニット（WU-RM205）を接続すると、放送システムを増設することができます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）	1冊	以下の付属品は取付工事に使用します。
保証書	1式	束線バンド
風防（本体に取付済）	1個	（幅2.5 mm × 厚さ1.1 mm × 長さ150 mm）
		ジャックキャップ
		2個
		拡張 I/Fコネクターカバー
		1個
		音量調整用小型ドライバー
		1本

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して、一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の故意や誤使用、不注意による損害または本商品の破損など
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、拡声ができないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

記号のみかた



：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。

もくじ

ご使用前に

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
記号のみかた	2
安全上のご注意	5
使用上のお願い	6
各部のなまえと働き（前面）	7

ご使用前に

操作

放送のしかた	8
フレキシブルマイクから放送するとき	8
ライン入力に接続した音源機器の音声を放送するとき	9
一斉放送するとき	9

操作

設置・工事

設置上のご注意	10
各部のなまえと働き（後面・底面）	11
設置のしかた	12
本機を壁に取り付ける場合	12
増設ユニットの壁取り付け	14
据え置き使用時の増設ユニットの取り付け	14
接続のしかた	15
接続できる主装置	15
線材の線径	15
線材の束線のしかた	16
増設ユニットの接続のしかた	16
音声調整卓との接続	17
インテリジェントAVステーション (WL-AV190A) との接続	22
壁掛形非常用放送設備 (WK-EK110/EK115/EK120) との接続	23
ラック形非常用放送設備 (WL-8000/8500) / 業務放送システム (WL-K600) との接続	24
ラック形非常用放送設備 (WL-8000/8500) / 業務放送システム (WL-K600) との接続 (増設ユニット (WU-RM205) を併用した回線増設のしかた)	26
ラック形音響装置 (WL-7100/7600) との接続	28
ラック形音響装置 (WL-7100/7600) との接続 (増設ユニット (WU-RM205) を併用した回線増設のしかた)	30
デジタルICレコーダーとの接続	32
個別優先順位の設定	33
放送先名称の表示	34
音量の調整のしかた	34

設置・工事

必要なとき

ご使用前に

**必要な
とき**

故障かな!?	35
仕様	36
保証とアフターサービス	37

操作

設置・工事

必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- 直ちに販売店に連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

不安定な場所に置かない



禁止

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

質量に耐える取り付けをする



落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

- 十分な強度に補強してから取付けてください。

機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡ください。

雷のときは工事、配線をしてはいけない



禁止

火災や感電の原因となります。

使用上のお願い

警告 に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

● **使用温度範囲は、0℃～+45℃です。**

この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与え、故障または誤動作の原因となります。

● **携帯電話のご使用について**

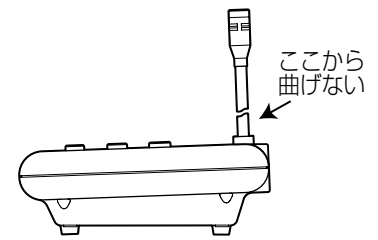
本機の近くでは、携帯電話等の無線機器のご使用は避けてください。放送にノイズが入る恐れがあります。

● **本機を移動する場合は、筐体部を持ってください。**

フレキシブルマイク部を持って移動すると、故障の原因になります。

● **マイク部を口元に近づけるときは、マイク部に近い側を持って曲げてください。**

絶対に根元側から曲げることはしないでください。



● **使用場所について**

- ・本機を水滴のかかる場所には置かないでください。
- ・本機の上や周囲に水などが入った容器を置かないでください。
- ・窓際など直射日光の当たる場所での使用は避けてください。

● **表示について**

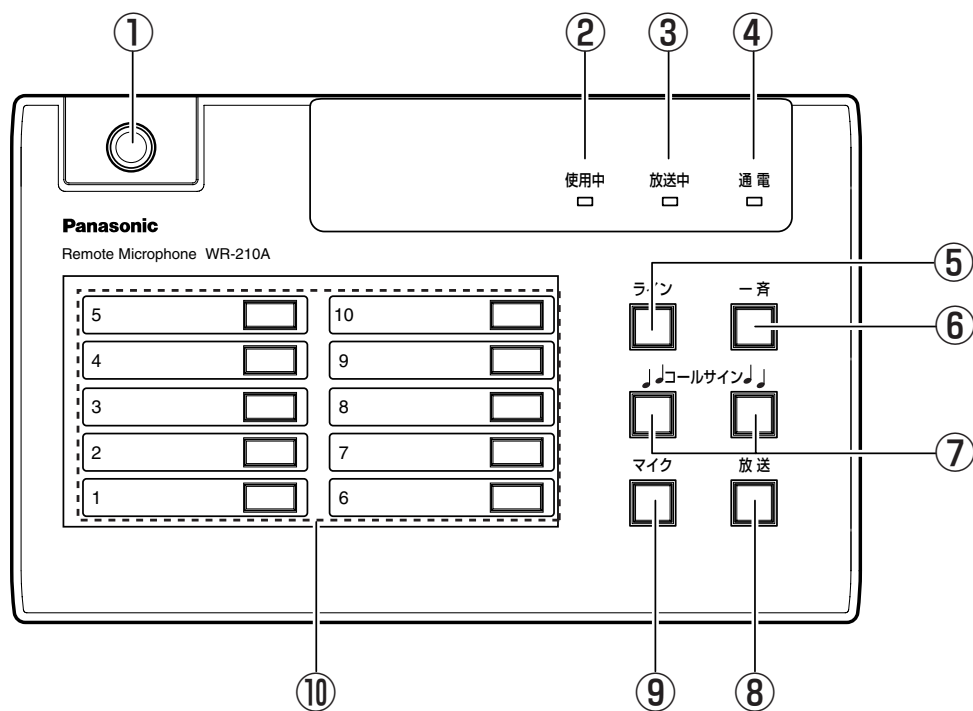
本機の識別および電源その他の表示は、本機底面に表示しています。

● **お手入れについて**

ケースが汚れたときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいでください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。
ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

各部のなまえと働き (前面)

■前面



ご使用前に

① フレキシブルマイク

マイクの方向を変えることができます。
風防 (付属品取付済) をつけてご使用ください。

② 使用中表示灯 [使用中]

個別優先設定や主装置側の優先順位設定で、本機より優先順位の高いリモコンマイクから放送されたときに点灯します。
点灯しているときは、本機からの放送はできません。

本機より優先順位の低いリモコンマイクから放送されているときは、点灯しません。

③ 放送中表示灯 [放送中]

本機から放送ができるときに点灯します。

④ 通電表示灯 [通電]

本機に電源 (DC 24 V) が供給されているときに点灯します。

接続した主装置がラック形非常用放送設備、業務放送システムまたは壁掛形非常用放送設備のときは、個別放送ボタンを押して放送ボタンを押すと電源が供給されて点灯します。

一斉放送のときは、一斉ボタンを押したときに電源が供給されて点灯します。

⑤ ラインボタン [ライン]

ライン入力に接続した音源機器の音声を放送するときに押します。

⑥ 一斉ボタン [一斉]

一斉放送するときに押します。

⑦ コールサイン上り/下りボタン [「コールサイン」]

本機を接続した主装置側のコールサインを鳴らします。



重要

コールサイン上り/下りボタンを両方同時に押さないでください。

⑧ 放送ボタン [放送]

本機から放送するときに押します。
再度押すと放送を終了します。

⑨ マイクボタン [マイク]

フレキシブルマイクから放送するときに押します。

⑩ 個別放送ボタン [1~10]

個別に放送するエリア、ブロックを選択するときに押します。
放送エリア、ブロックの設定は主装置側で行います。
WR-205Aの場合は、6~10のボタンはありません。

放送のしかた

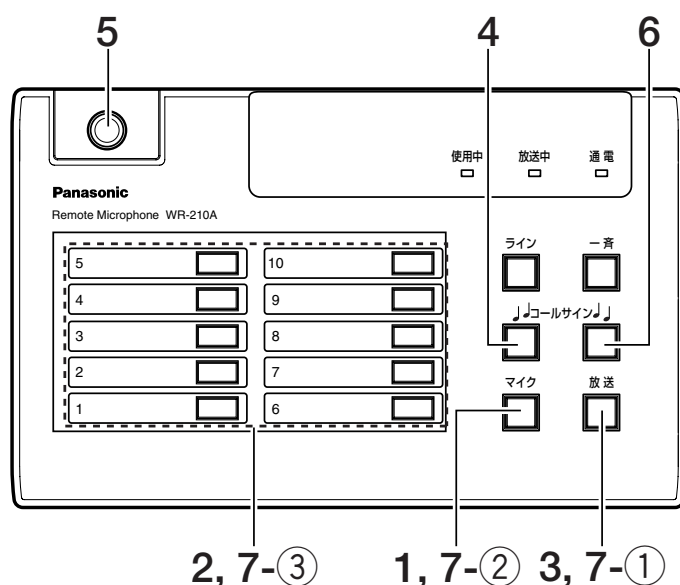
- ・使用中表示灯が点灯している場合は、本機から放送することができません。(本機より優先順位の高いリモコンマイクから放送中のためです。)
- ・ラック形非常用放送設備、業務放送システム、壁掛形非常用放送設備に接続した場合、通電表示灯は通常消灯していますが、個別放送ボタンを押して放送ボタンを押すと放送中表示灯と一緒に点灯します。再度、放送ボタンを押すと、放送中表示灯と通電表示灯が消灯します。
一斉放送のときは、一斉ボタンを押すと放送中表示灯と一緒に点灯します。
再度、一斉ボタンを押すと放送中表示灯と通電表示灯が消灯します。

■フレキシブルマイクから放送するとき

操作

- 1 マイクボタンを押す
- 2 個別放送ボタンを押して、放送先を選択する
- 3 放送ボタンを押す
放送中表示灯が点灯します。
- 4 コールサイン上りボタンを押す
主装置側にコールサインがある場合です。
- 5 マイクから放送する
選択した放送先にアナウンスが流れます。
- 6 コールサイン下りボタンを押す
主装置側にコールサインがある場合です。
- 7 以下の順でボタンを押し、放送を終了する

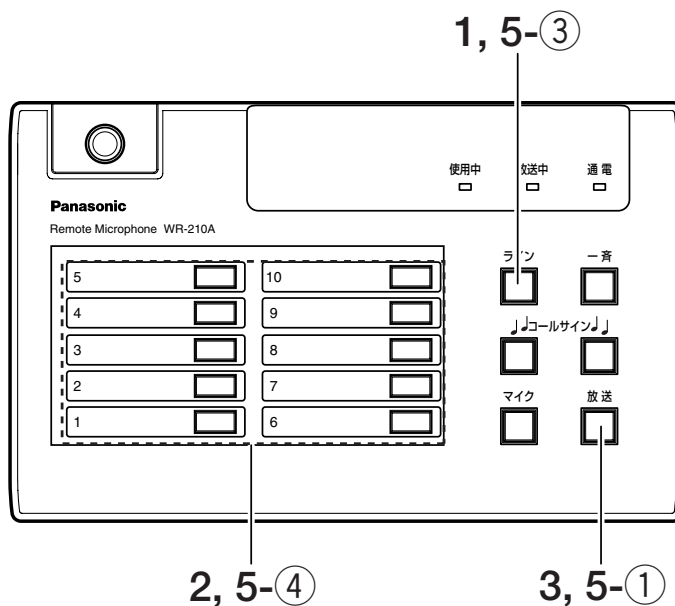
①放送ボタン（放送中表示灯：消灯）→②マイクボタン→③個別放送ボタン



■ライン入力に接続した音源機器の音声を放送するとき

- 1 ラインボタンを押す
- 2 個別放送ボタンを押して、放送先を選択する
- 3 放送ボタンを押す
放送中表示灯が点灯します。
- 4 音源機器の再生ボタンを押し、放送する
- 5 以下の順でボタンを押し、放送を終了する

①放送ボタン（放送中表示灯：消灯）→②音源機器の停止ボタン→③ラインボタン→④個別放送ボタン



重要 ラインから放送中にマイク放送したとき、またはマイクから放送中にライン放送したときは、ミキシングされて放送されます。

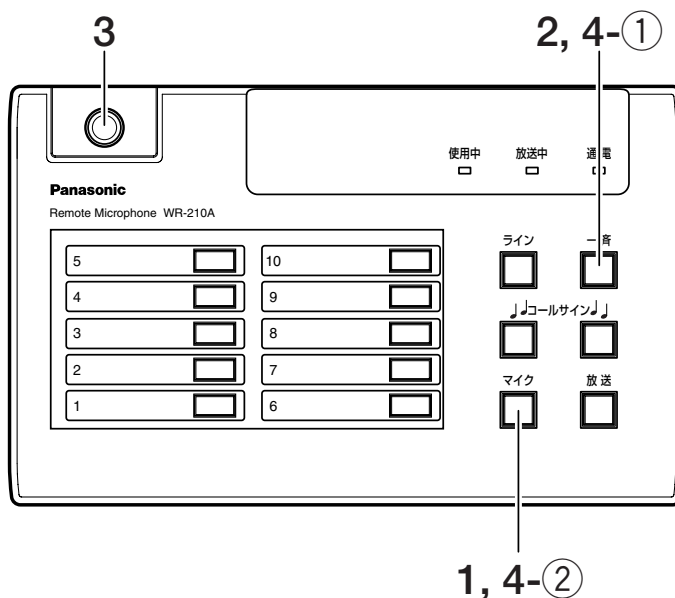
■一斉放送するとき

- 1 マイクボタンを押す
音源機器の音声を一斉放送するとき、ラインボタンを押します。
- 2 一斉ボタンを押す
放送中表示灯が点灯します。
- 3 マイクから放送する
音源機器のときは再生ボタンを押し、放送します。
- 4 以下の順でボタンを押し、放送を終了する

①一斉ボタン（放送中表示灯：消灯）→②マイクボタン

音源機器のときは

①一斉ボタン（放送中表示灯：消灯）→②音源機器の停止ボタン→③ラインボタン



設置上のご注意



警告

工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、接続する主装置側の電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

●設置場所について

- ・直射日光の当たるところや温風吹き出し口の近くの設置は避けてください。
- ・湿気やほこり、振動の多い場所に設置しないでください。
- ・トランス、調光器、映像機器、CRTモニターなどからできるだけ離してください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。
- ・電波受信機（ラジオやテレビ、ワイヤレスマイクの受信機など）の近くで使用すると、電波受信機側で雑音や誤動作の原因となることがあります。本機と電波受信機はできるだけ離してご使用ください。

●壁取付について

- ・モルタル壁へのねじによる直取り付けはしないでください。強度不足による落下や発熱による発火の原因となります。
- ・壁取付のときは、取付金具（WR-Q300：別売品）を使用して、柱や板壁に取り付けてください。
- ・壁取付で増設ユニットがある場合は、本機左側に接続台数分の空間を確保して本機を取り付けてください。増設ユニットの幅寸法は107 mmです。
- ・ねじは、きつく締めすぎないでください。また電動式のドリルドライバーなどの使用は避けてください。ねじ山が破損する原因となります。
- ・本機および増設ユニット底面に止める取付金具の締付トルクは、58～78 N・cm {6～8 kgf・cm} です。

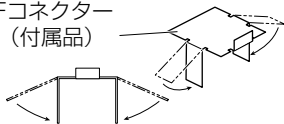
●壁取付時のほこりよけについて

- ・ほこりによる接触不良を防止するため、壁取付時に未使用のライン入力、録音出力には付属のジャックキャップ、拡張I/Fコネクタには、付属のカバーをかぶせてください。

カバーの取り付けかた

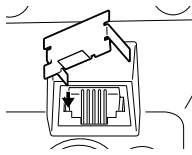
1

拡張I/Fコネクタ
カバー（付属品）



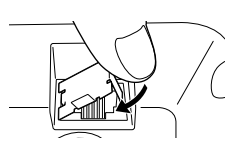
カバー両端の爪が開いていたら、曲げて直角に近い形（開き気味）にしてください。

2



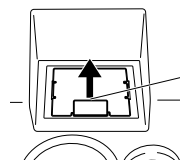
片側の爪をコネクタにはめます。

3



爪先で反対側の爪を内側に傾けてコネクタにはめ、押してカバーをかぶせます。

カバーの外しかた



外すときはこの部分を持ち上げて外します。

●接続線材について

- ・「接続のしかた」に記載されている線材をご使用ください。

●静電気について

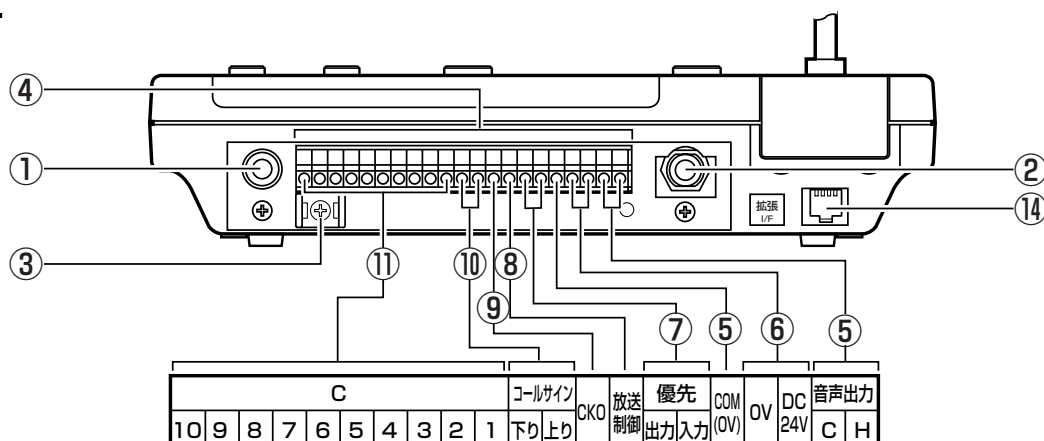
- ・静電気による破損を防止するために、作業を始める前に金属部に手を触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。

●放送先名称の表示について

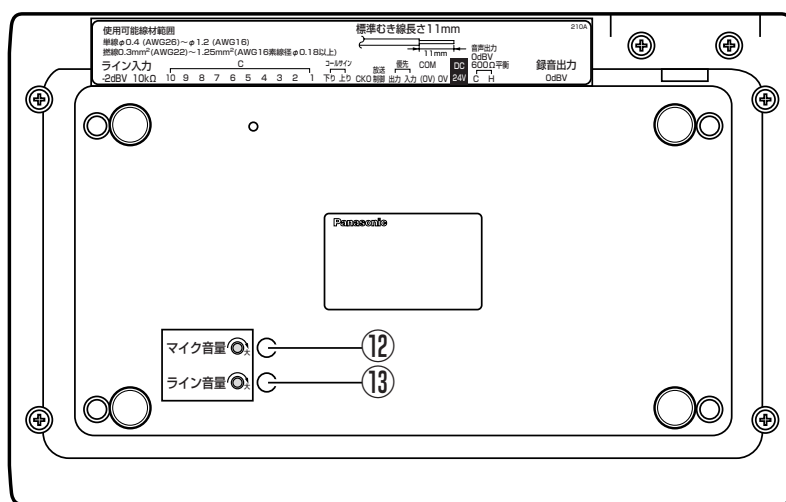
- ・設定した放送先エリア、ブロックの名称を表示カードに表示してください。ラベルで表示するときは、高さ9 mmのものを使用してください。（34ページ参照）

各部のなまえと働き (後面・底面)

■後面



■底面



① ライン入力端子 (-2 dBV 10 kΩ 不平衡)

音源機器の音声出力を接続します。

② 録音出力端子 (0 dBV 10 kΩ 不平衡)

本機マイクからの放送およびラインからの放送を録音する場合に使用します。

③ ケーブルクランプ

端子台に接続した線材を束線バンド (付属品) で固定するときに使います。

④ 接続端子台

⑤ 音声出力端子 [H,C,COM (0 V)]

主装置側の音声入力端子と接続し、本機の音声の主装置側に出力します。

主装置により、COM (0 V) 端子の接続は行いません。

⑥ 電源接続端子 [DC 24 V, 0 V]

主装置側の電源端子と接続し、電源の供給を受けます。

⑦ 優先入力、出力

優先設定するときに接続します。

⑧ 放送制御端子

放送起動をかけるために、主装置側の放送制御端子と接続します。

⑨ CKO端子

一斉放送を行うときに、主装置側の一斉制御端子またはCKO端子と接続します。

⑩ コールサイン端子 [上り、下り]

主装置側のコールサインを鳴動させるときに接続します。

⑪ C1-C10端子

主装置側で設定した放送システムを接続します。WR-205Aの場合は、C1-C5端子です。

⑫ マイク音量調整ボリューム

フレキシブルマイク入力の音量を調節します。

⑬ ライン音量調整ボリューム

ライン入力の音量を調節します。

⑭ 拡張I/Fコネクタ

別売品の増設ユニット (WU-RM205) を増設するときに接続します (ケーブルは増設ユニットに付属)。

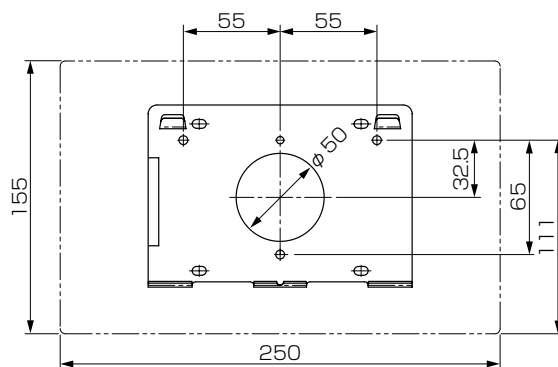
設置のしかた

■本機を壁に取り付ける場合

本機を壁に取り付ける場合、取付金具 (WR-Q300 : 別売品) が必要です。本機の寸法は幅250 mm奥行き155 mmです。余裕を持って、取り付け位置を決めてください。

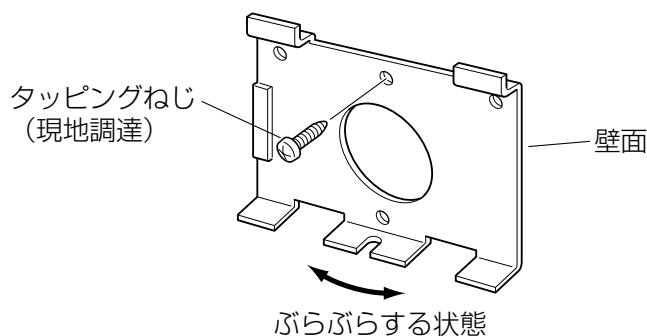
増設ユニットの接続がある場合は、本機左側に接続台数分の空間をあけて、本機の実取り付け位置を決めてください。増設ユニットの幅寸法は107 mmです。

- 1 取付金具の方向を確認します。
(3つ孔のある方が上になります。)

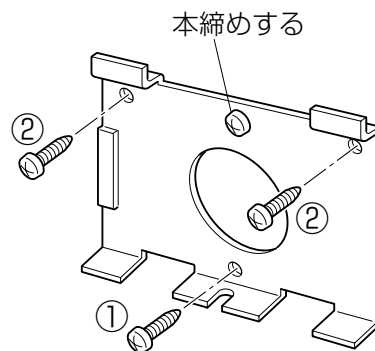


- 2 3つ孔の中央の孔をタッピングねじで壁に取り付けます。
(取付金具が左右に動く状態に仮止めて、水平の状態にします。)

タッピングねじ (現地調達)
呼び径4、またはST4.2 長さ15 mm以上



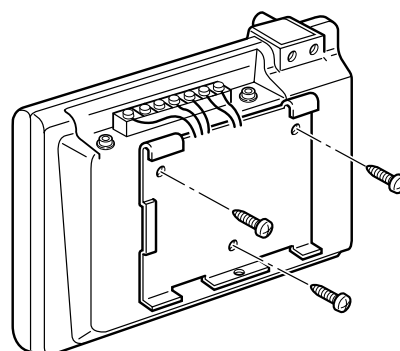
- 3 傾きが出ないように①下側中央の孔を止め、次に②上側左右の孔を止めて、仮止めた中央のねじを本締めします。



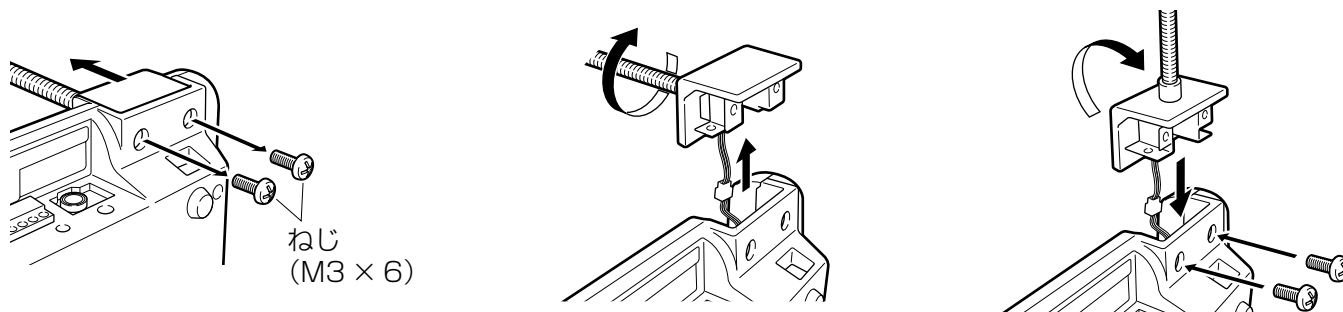
- 4 本機底面に取付金具を取り付けます。
取付金具に付属されているタッピングねじ (呼び径3×8) で固定します。



重要 ねじの締めトルクは、58~78 N·cm {6~8 kgf·cm} です。きつく締めすぎないでください。ねじ山が破損する原因となります。



5 フレキシブルマイク取付台のねじ2本を外して、フレキシブルマイクの向きをかえ、外したねじで取り付けます。



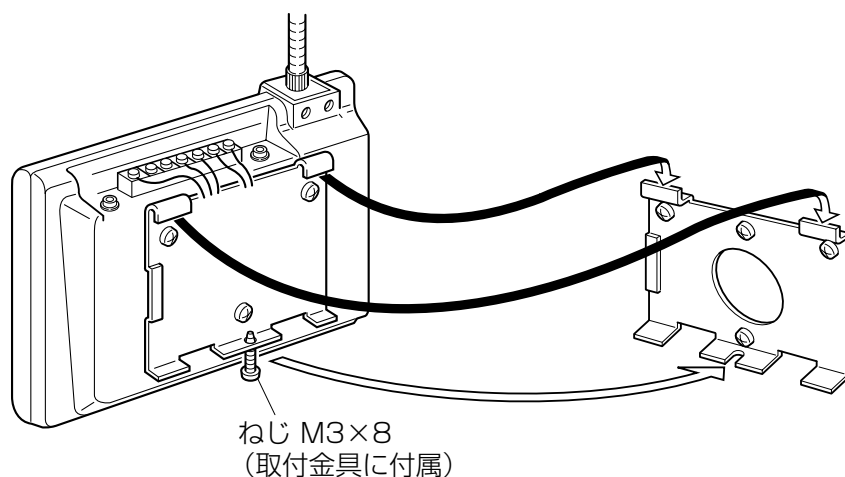
重要

- ・フレキシブルマイクの向きをかえて、フレキシブルマイク取付台を取り付ける際は、内部の線材をはさんだり、強く引っ張ったりしないでください。線材が破損する原因となります。
 - ・ねじの締付トルクは、 $58\sim 78\text{ N}\cdot\text{cm}$ { $6\sim 8\text{ kgf}\cdot\text{cm}$ } です。きつく締めすぎないでください。ねじ山が破損する原因となります。
- 手順6の取付金具間を止めるねじも、同様の締付トルクで締めてください。

6 壁につけた取付金具に本機底面の取付金具を掛けて、下から取付金具に付属のねじ (M3×8) で固定します。

先に本機底面の取付金具にねじを仮止めしておく、作業がしやすくなります。

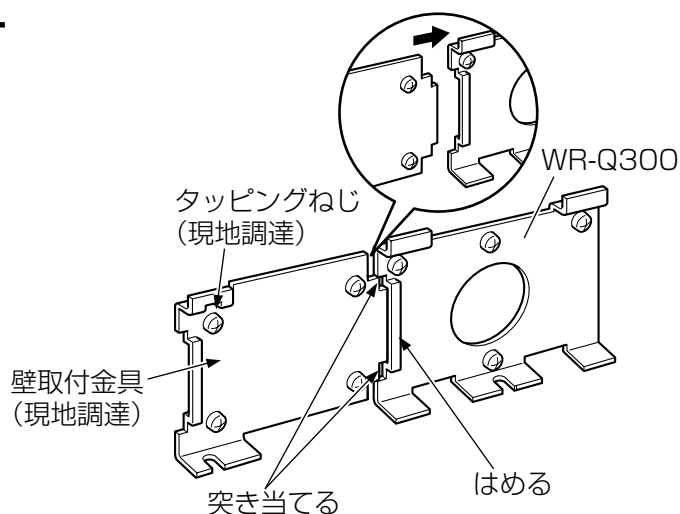
増設ユニットの接続がある場合は、本機を取付金具へ固定する前に増設ユニットの壁取付金具を壁に取り付けます。



■増設ユニットの壁取り付け

- 1 増設ユニット壁取付金具の突起部を、本機壁取付金具左端面の溝に合わせ、壁取付金具間に隙間が開かないように壁に取り付けます。

取付ねじ……タッピングねじ（現地調達）
呼び径4またはST4.2 長さ15 mm以上



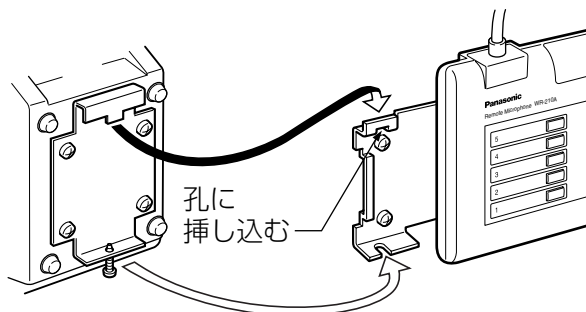
- 2 増設ユニット底面に取付金具を、取付金具に付属のタッピングねじ（呼び径3×8）で固定します。



重要 ねじの締付トルクは、58～78 N・cm {6～8 kgf・cm} です。きつく締めすぎないでください。ねじ山が破損する原因となります。

- 3 本機の壁取付の手順6に沿って本機を取付金具に固定してから、増設ユニット取付金具の孔に増設ユニット底面の取付金具突起部を挿し込み取り付けて、下から取付金具付属のねじ（M3×8）で固定します。

このとき本機同様、増設ユニット側の金具にねじを仮止めして取り付けておくと、作業しやすくなります。



■据え置き使用時の増設ユニットの取り付け

必ず増設ユニットに付属の連結金具で、本機と連結してください。

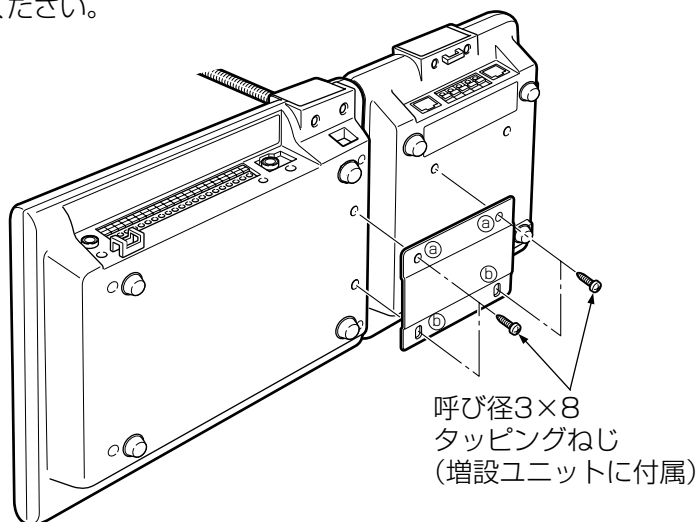
- 1 連結金具を本機に取り付けます。

金具の位置を決めるために丸孔◎側からねじ止めします。

- 2 増設ユニットを連結金具に取り付けます。



重要 ねじの締付トルクは、58～78 N・cm {6～8 kgf・cm} です。きつく締めすぎないでください。ねじ山が破損する原因となります。



接続のしかた

■接続できる主装置

主装置別のリモコンマイク接続可能台数は下表をご覧ください。増設ユニットの台数は、本機1台に対して接続可能な台数です。

主装置名		接続可能台数					
品名	品番	WR-210A			WR-205A		
		WU-RM205増設時		WU-RM205増設時		WU-RM205	
		WR-210A	WU-RM205	WR-205A	WU-RM205		
インテリジェントAVステーション	WL-AV190A	1	0	0	2	1	1 ※1
ラック形音響装置	WL-7100/7600	4	4	2 ※2	4	4	3 ※2
業務放送システム	WL-K600	4	4	6	4	4	6
ラック形非常用放送設備	WL-8000/8500						
壁掛形非常用放送設備	WK-EK110/115/120	1	0	0	2	1	1 ※1
音声調整卓	WL-SA111/112/113 WL-SA122/133	「音声調整卓との接続」(17ページ参照) をご参照ください。					

本機に接続できる、増設ユニットの最大接続数は6台までです。

※1：本機から制御できる主装置側の局数により制限されます。

※2：制御電流が、他の主装置より多いため、接続台数が制限されます。

■線材の線径

配線距離	200 m以下	500 m以下
シールド線	0.5 mm ² (AWG20) ~ 1.25 mm ² (AWG16)	
制御信号線	φ0.8 mm (AWG20) ~ φ1.2 mm (AWG16)	φ1.2 mm (AWG16)
COM (0 V) 線		
電源DC 24 V線 / 電源0 V線 (※1)		

※1：ラック形音響装置15局以上の場合のみ、電源0 V線は下表の接続にしてください。

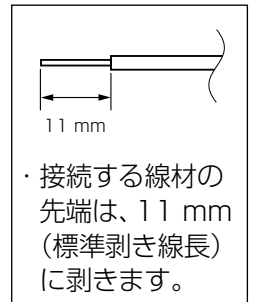
配線距離	200 m以下	500 m以下
電源0 V線	φ0.8 mm (AWG20) は2線 (※2) φ1.2 mm (AWG16) は1線	φ1.2 mm (AWG16) は2線 (※2)

※2：リモコンマイク側の即結端子台に2線を接続する場合は、圧着端子 (スリーブ) など
1本にまとめて接続してください。

- ・線材の外径はφ3.0 mm以下、より線の素線径はφ0.18 mm以上を使用してください。
- ・上表以外の線材を使用する場合は、1線の線路抵抗が7 Ω以下のものを使用してください。
- ・リモコンマイクを移動して使用する場合は、より線を使用して中継してください。

接続する主装置の種類によって、本機の音声出力端子と接続するシールド線の種類、および主装置側の接続のしかたが異なります。

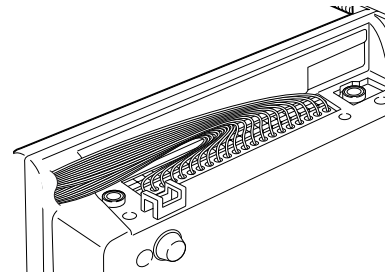
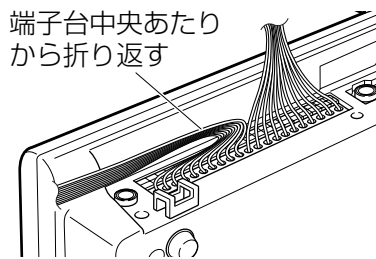
主装置名	線種	接続のしかた
音声調整卓 ラック形音響装置	2芯シールド線	複式プラグ で接続
ラック形非常用放送設備 業務放送システム 壁掛形非常用放送設備		端子台に接続
インテリジェントAVステーション		単頭プラグ で接続



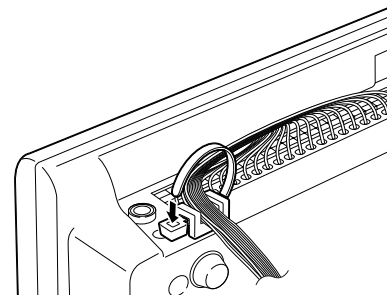
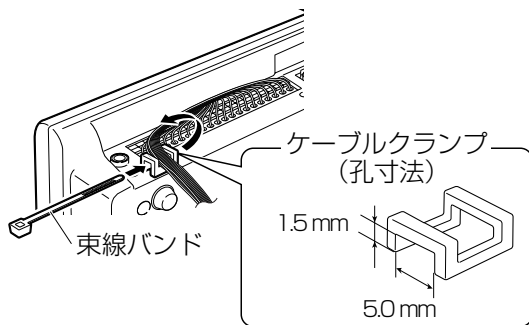
接続のしかた

■線材の束線のしかた

ケーブルクランプに近い端子台に接続した線材は、端子台中央あたりから折り返すように引き回し、残りの線材と束ねます。

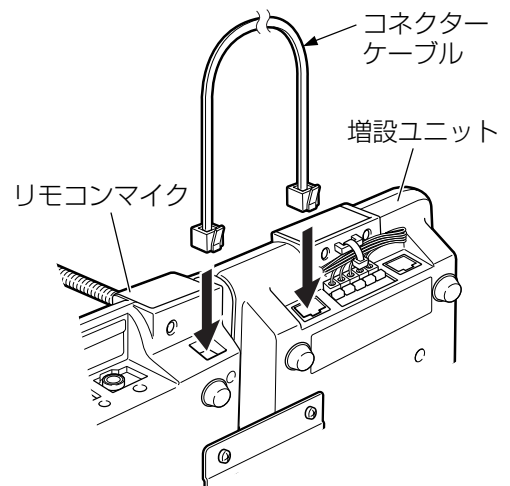


束ねた線材をケーブルクランプの上に通します。
付属の束線バンドをケーブルクランプに取り付け、線材を固定します。

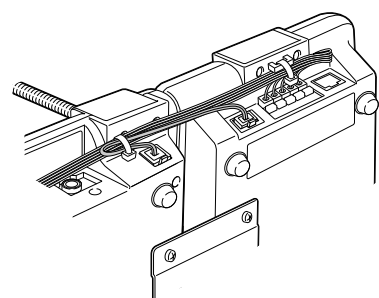
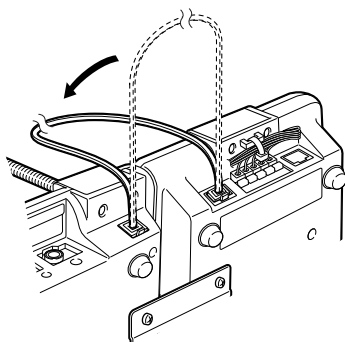


■増設ユニットの接続のしかた

個別に放送するエリア・ブロックを増やすときに接続します。接続最大台数は6台(30局)です。
本機の拡張I/Fコネクタと増設ユニットの拡張I/Fコネクタ間をコネクタケーブル(増設ユニットに付属)でつなぎます。



コネクタケーブルの余長分は、リモコンマイク側に曲げて他の線材と一緒に、束線バンド(増設ユニットに付属)で束線します。



■音声調整卓との接続

●本機との接続台数は、下表の通りです。本機と増設ユニット(WU-RM205)の局数の合計が、音声調整卓の局数を超えない範囲で接続してください。また、本機に接続できる増設ユニット(WU-RM205)の最大接続台数は、6台です。増設ユニットの台数は、本機1台に対して接続可能な台数です。

			WR-210A				WR-205A			
			1台の場合		複数台の場合		1台の場合		複数台の場合	
			WR-210A	WU-RM205	WR-210A	WU-RM205	WR-205A	WU-RM205	WR-205A	WU-RM205
WL-SA111	1系統	10局	1台	0	—	—	1台	1台	—	—
WL-SA112		20局		2台	2台	0		3台	2台	2台
WL-SA113		30局		4台	2台	2台		5台	2台	4台
					3台	0		3台	3台	

		WR-210A		WR-205A	
		WR-210A	WU-RM205	WR-205A	WU-RM205
WL-SA122	2系統 20局	1台/1系統	0 (6) ※1	1台/1系統	0 (6) ※1
WL-SA133	3系統 30局				

※1 回線増設ユニット(WL-SA103)を3台接続した場合、最大6台までWU-RM205の接続可能です。

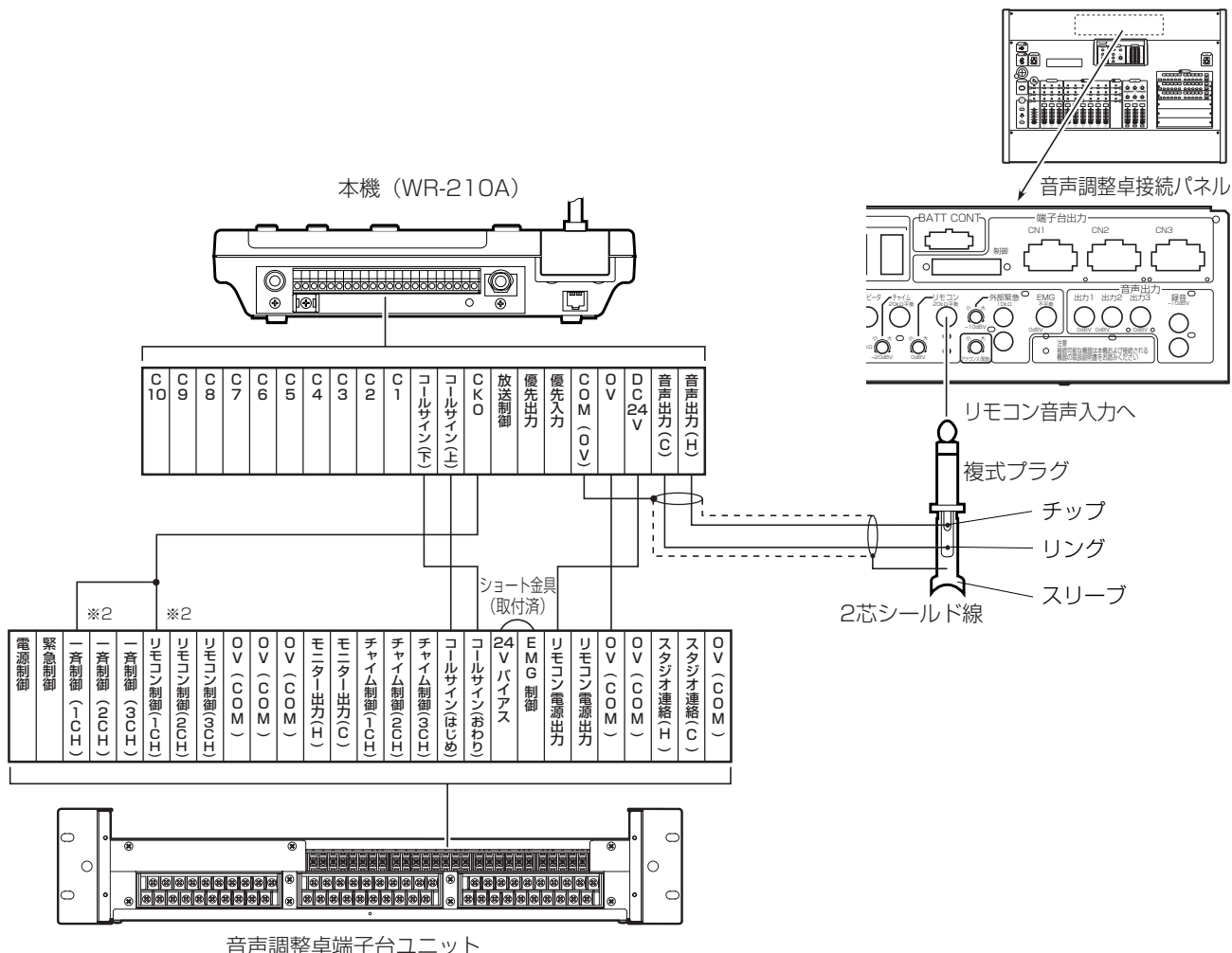
●一斉放送するときの接続のしかた

一系統音声調整卓の場合は、一斉制御 [1CH]、リモコン制御 [1CH] の端子に接続します。

二系統、三系統音声調整卓の場合は、一斉放送する [CH] の一斉制御、リモコン制御端子に接続します。

図は1CHを一斉放送する接続にしています。他のチャンネルを一斉放送するには、※2の接続を変更します。

二系統および三系統音声調整卓の全チャンネルに一斉放送するときには、※2を全チャンネルに接続します。

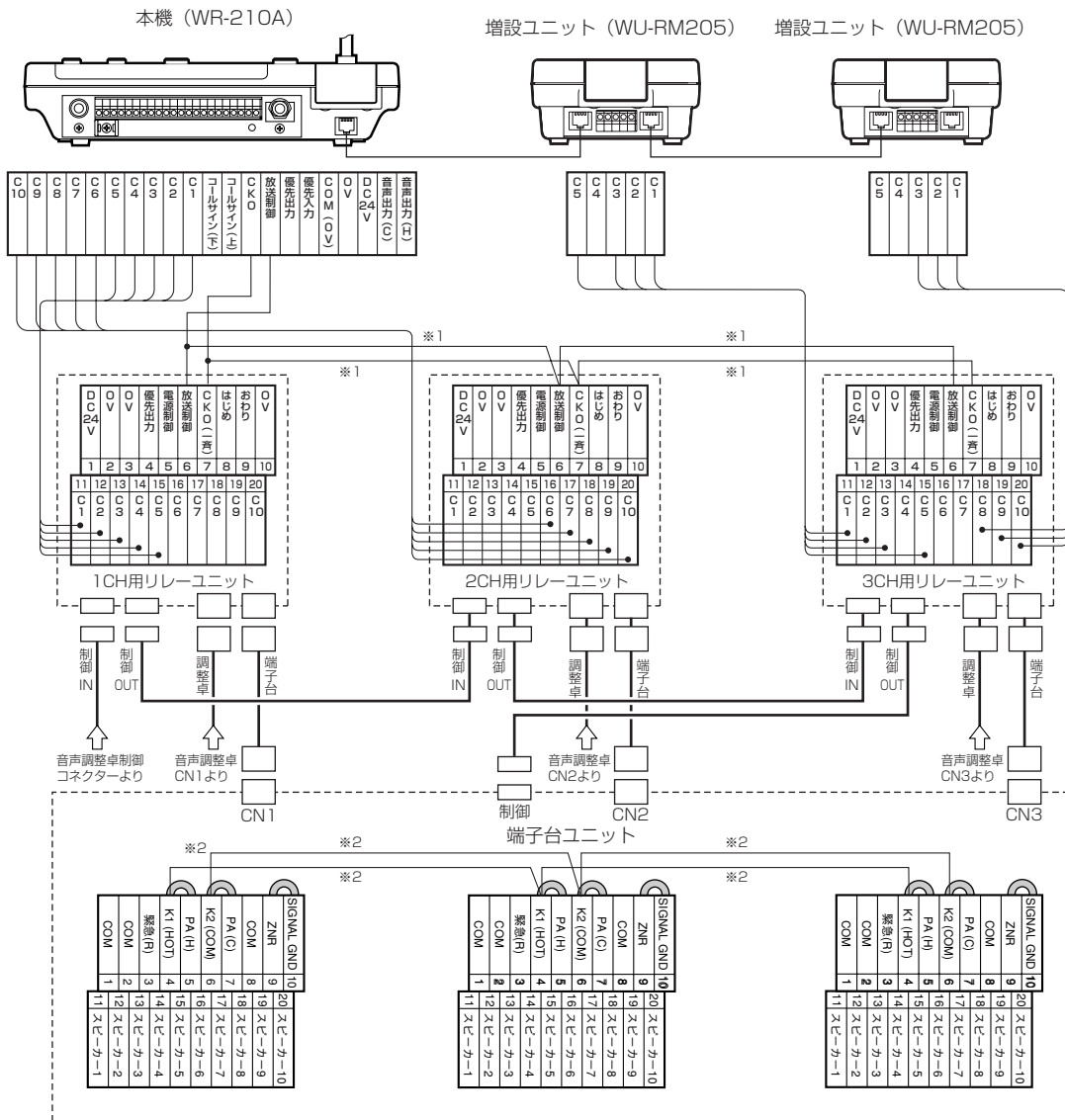


接続のしかた

●個別放送するときの接続のしかた

- ・本機から回線を選択して放送する場合は、リレーユニット (WU-SA105 : 別売品) が必要です。
- ・増設ユニット (WU-RM205 : 別売品) を接続したときは、リレーユニット間および端子台ユニットの音声入出力端子間で下記の接続が必要です。

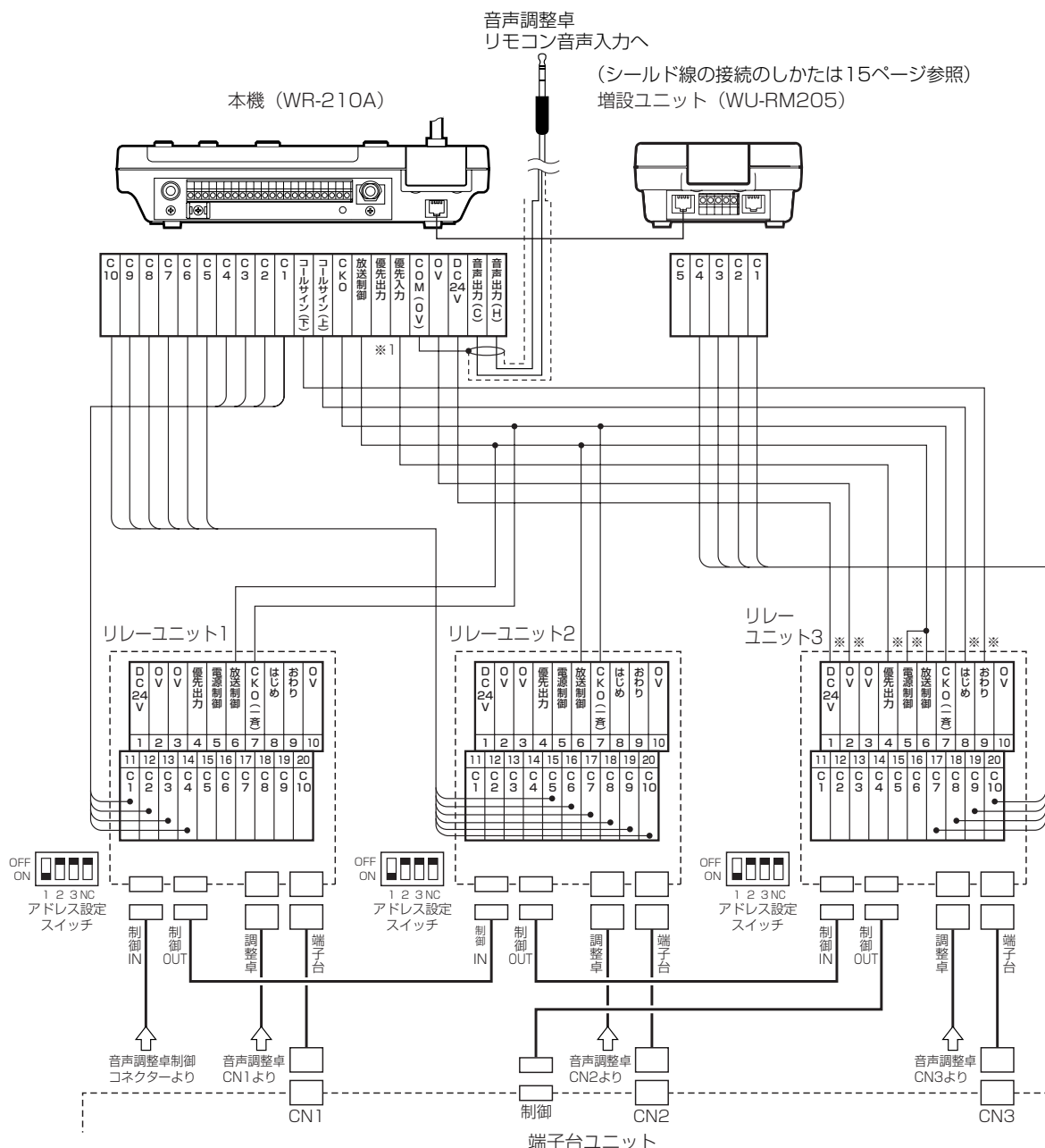
リレーユニット間	リモコン接続端子の放送制御端子間およびCKO (一斉) 端子間 (※1) 推奨丸端子 <JIS C2805> RAV1.25-3 適合電線 0.5 mm ² ~ 1.3 mm ² (AWG20 ~ AWG16)	
端子台ユニット・音声入出力端子間	K1 (HOT) 端子間およびK2 (COM) 端子間 (※2) 推奨丸端子 <JIS C2805> RAV1.25-3.5 適合電線 0.5 mm ² ~ 1.3 mm ² (AWG20 ~ AWG16)	



(1) 一系統音声調整卓の各回線に放送する場合の接続のしかた

図はWL-SA113と本機（WR-210A：10局）の接続図です。

- ・リレーユニット（WU-SA105）は、音声調整卓10局毎に必要です。
- ・※の接続は、リレーユニット1～3のいずれかに接続します。本機に別売の増設ユニット（WU-RM205）を4台接続することで全30局、選択放送することができます。（WL-SA113の場合）
- ・リレーユニットのアドレス設定スイッチは、すべて1台目（出荷時設定）にします。



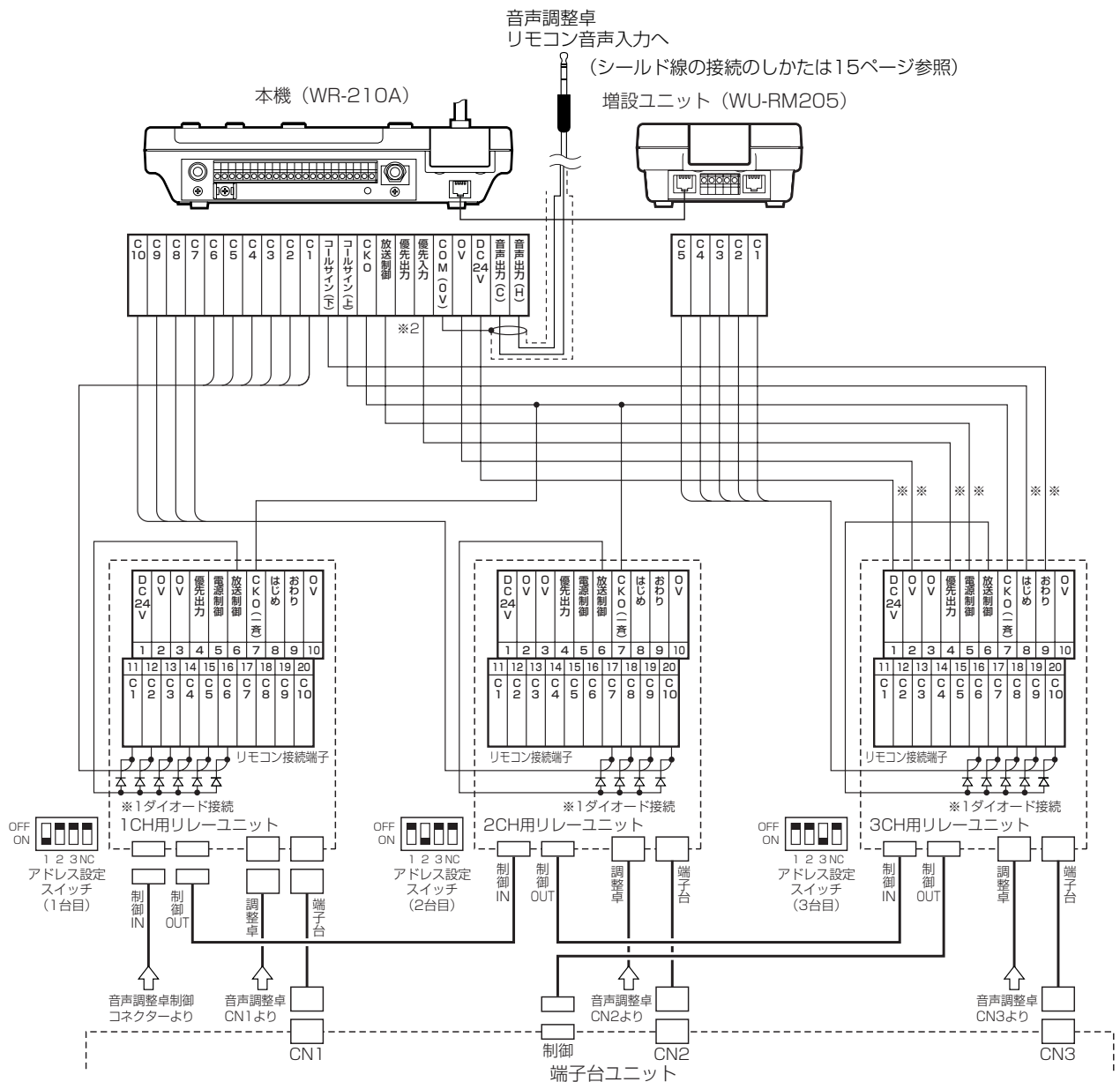
※1：本機の優先入力端子とリレーユニットの優先出力端子との接続は、音声調整卓からの緊急放送を行うために必要ですので、必ず接続してください。緊急放送時には使用中表示灯が点灯し、本機からの放送は停止します。

接続のしかた

(2) 二系統および三系統音声調整卓の各チャンネルに放送するときの接続のしかた

図はWL-SA133に本機 (WR-210A : 10局) を接続した図です。

- ・ 音声調整卓各チャンネル毎にリレーユニット (WU-SA105 : 別売品) が必要です。
- ・ 本機の放送制御端子とリレーユニットの放送制御端子間は接続しません。
- ・ ※の接続は、1~3CHのいずれかのリレーユニットに接続します。
 ※1 : チャンネルごとの放送制御はダイオード (逆流防止用) の接続が必要です。
 ダイオードYWAMO1Z (補修部品扱い)、または相当品 (順電流1 A以上、逆耐電圧200 V以上)
- ・ 本機に別売の増設ユニット (WU-RM205) を接続して全チャンネル、全局を選択放送することができます。

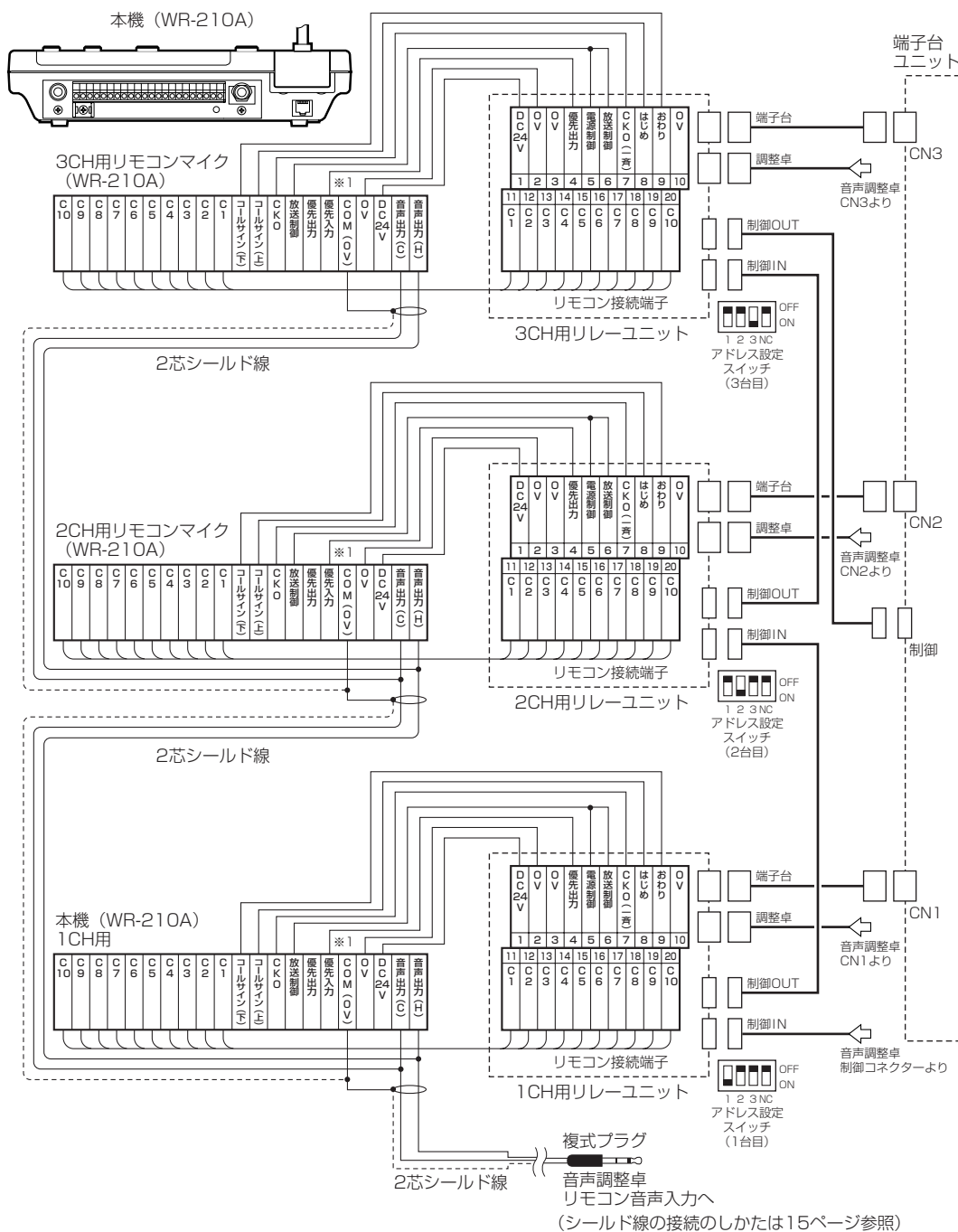


※2 : 本機の優先入力端子といずれかのリレーユニットの優先出力端子との接続は、音声調整卓からの緊急放送を行うために必要ですので、必ず接続してください。緊急放送時には、本機の使用中表示灯が点灯し、本機から放送は停止します。

(3) 二系統および三系統音声調整卓の各チャンネル10回線＋斉を放送するときの接続のしかた

図はWL-SA133に本機（WR-210A：10局）を接続した図です。

音声調整卓の各チャンネル毎にリレーユニット（WU-SA105：別売品）とリモコンマイクが必要です。

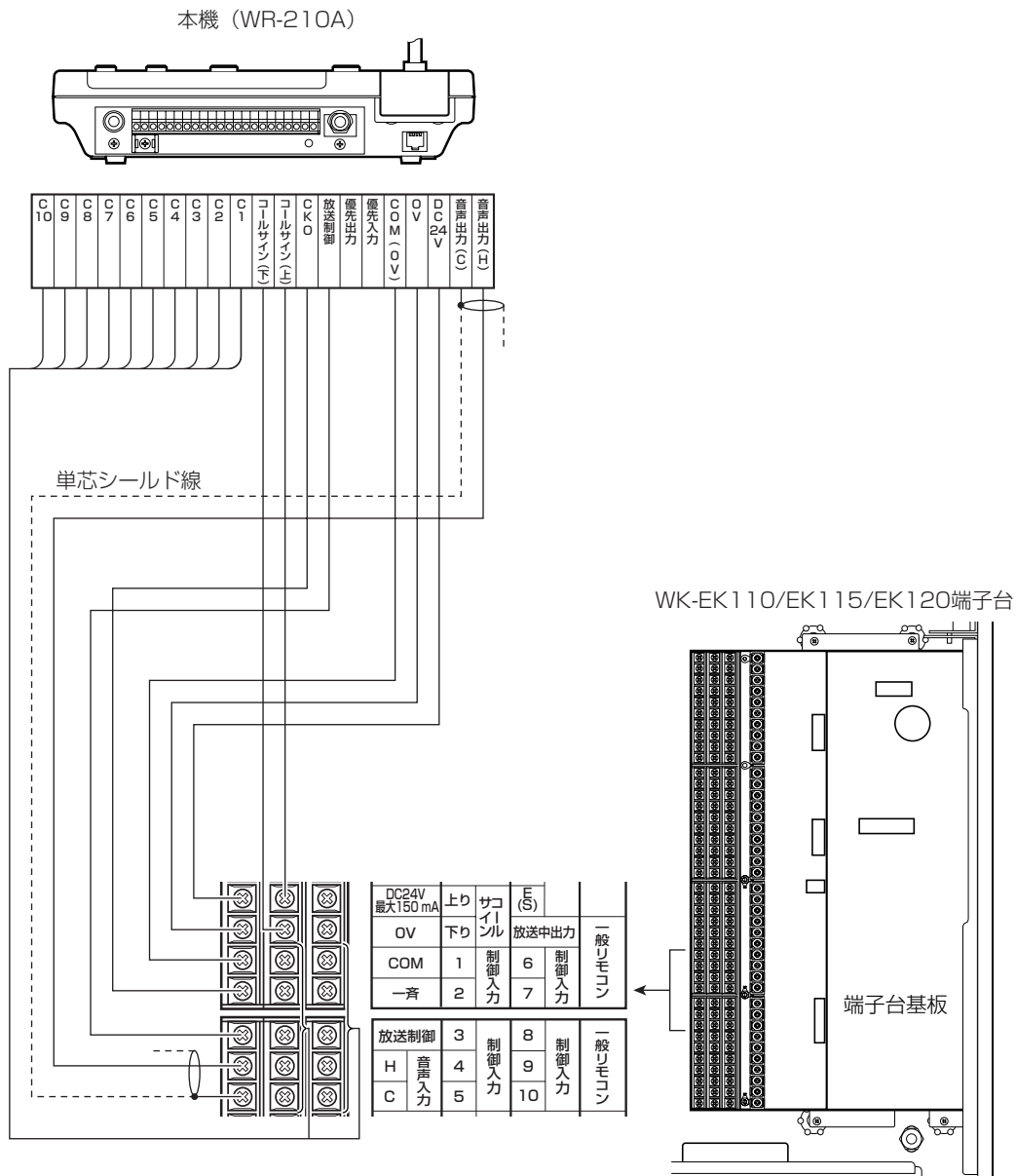


※1：リモコンマイクの優先入力端子とリレーユニットの優先出力端子との接続は、音声調整卓からの緊急放送を行うために必要ですので、必ず接続してください。

緊急放送時には、本機の使用中表示灯が点灯し、本機からの放送は停止します。

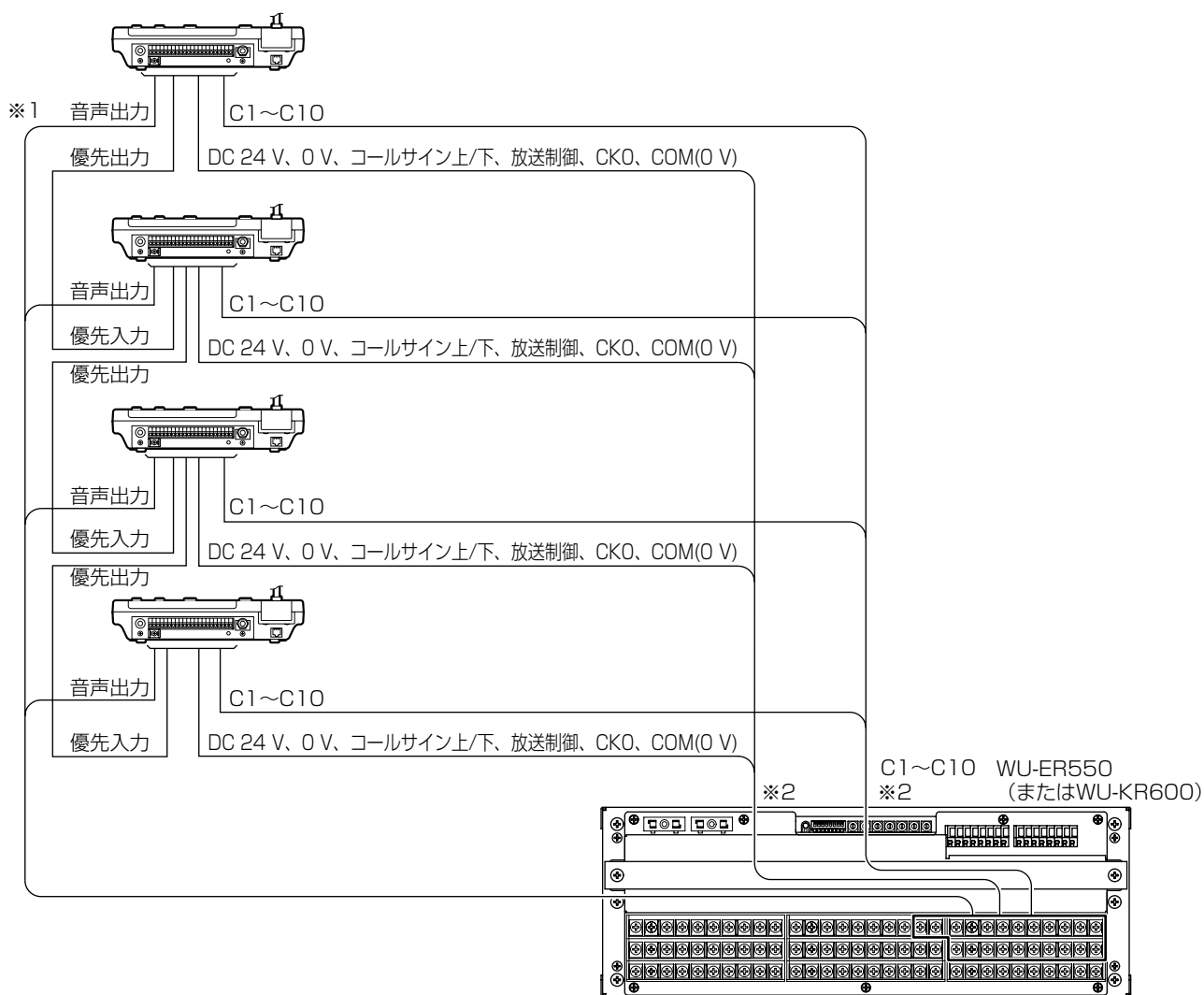
■壁掛形非常用放送設備 (WK-EK110/EK115/EK120) との接続

本機 (WR-210A : 10局) に増設ユニット (WU-RM205 : 別売品) を接続することはできません。



■ラック形非常用放送設備 (WL-8000 / 8500) / 業務放送システム (WL-K600) との接続

- ・リモコンマイクは、6台まで接続できます。
- ・本図は、ラック形非常用放送設備の入出力制御ユニット (WU-ER550) へリモコンマイクを4台接続し、スピーカー回線を回線制御する場合の例です。
- ・主装置側の取扱説明書も合わせてお読みください。
- ・2台以上のリモコンマイクを使う場合は、リモコンマイク間の優先設定をしてください。下図は、最上段のリモコンマイクを第1優先、最下段を最も優先度の低い設定とした接続例です。優先順位の設定の詳細は、33ページをご覧ください。

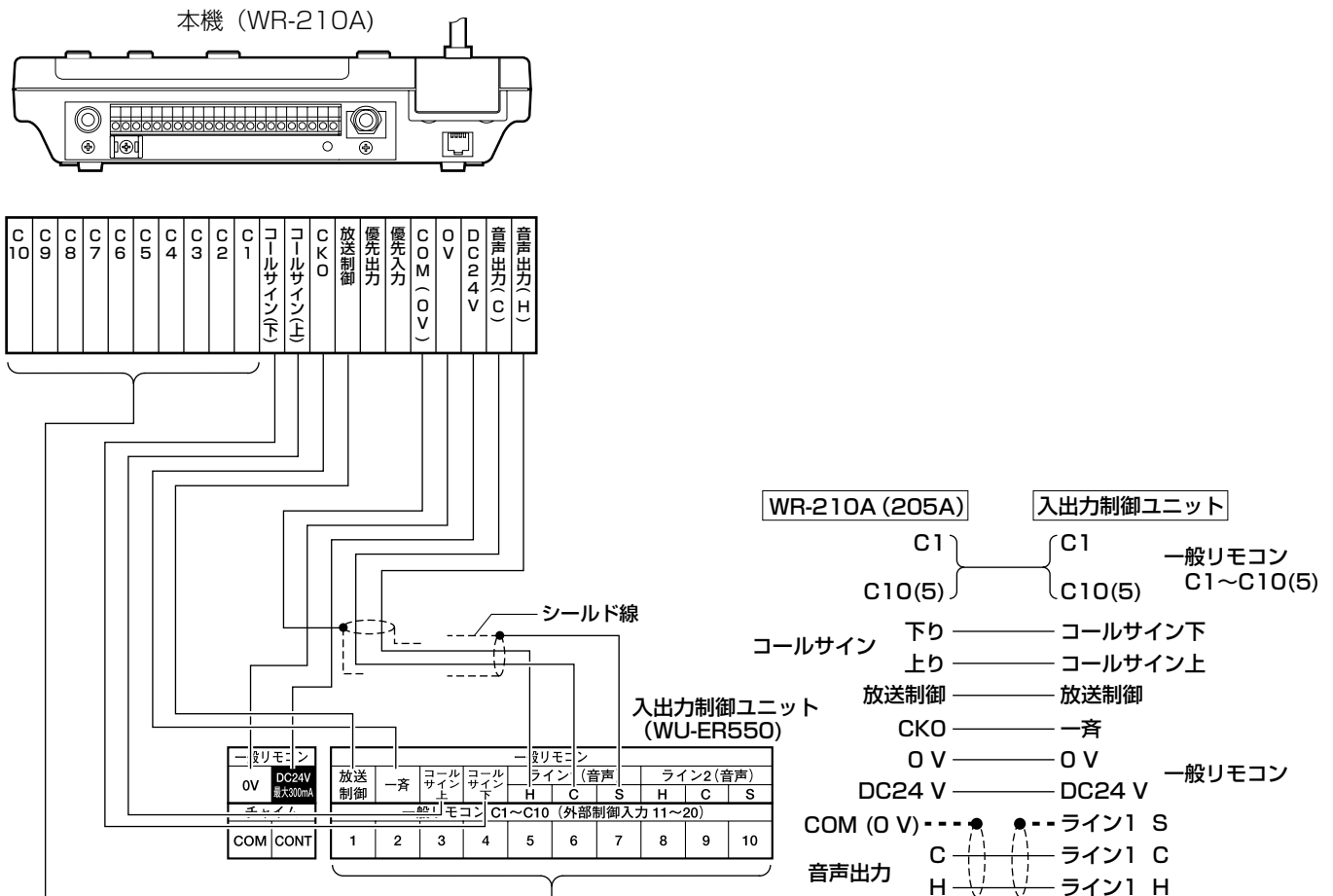


※1：リモコンマイクからの音声出力をラック形非常放送設備の入出力制御ユニットWU-ER550または、業務放送システムの入出力制御ユニットWU-KR600のリモコン音声入力ライン1または2へ接続します。各端子最大3台までの音声を接続することができます。

※2：制御線、電源線で2本以上の線を同じ端子に接続する場合は、圧着スリーブなどで1本にまとめてから接続してください。

下図は左図システムにおいて、本機1台部分の接続図です。本図はラック形非常用放送設備の入出力制御ユニット (WU-ER550) への接続例です。

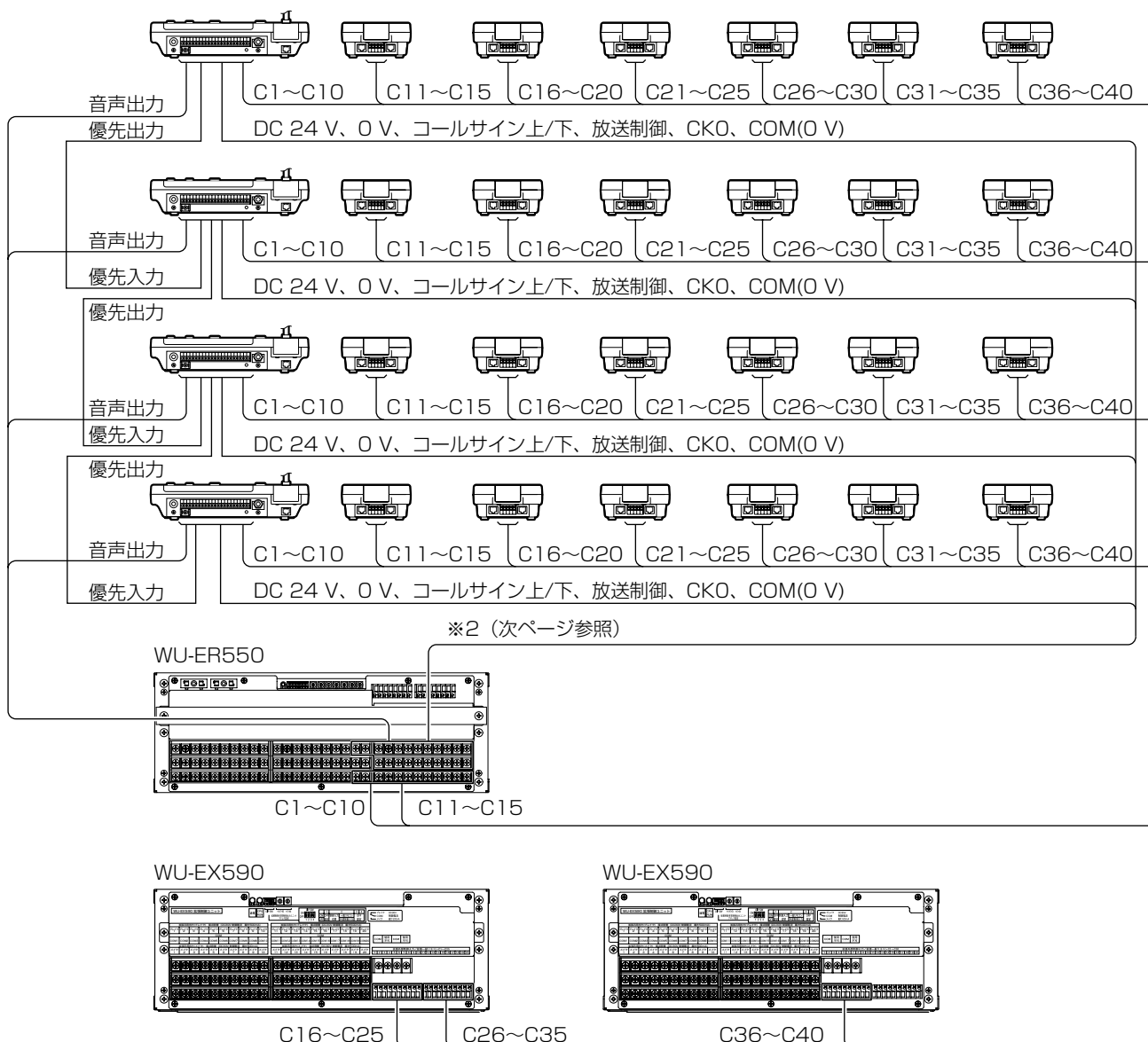
2~4台目部分の接続は、下図と同様で各端子を並列に接続します。



■ラック形非常用放送設備 (WL-8000 / 8500) / 業務放送システム (WL-K600) との接続

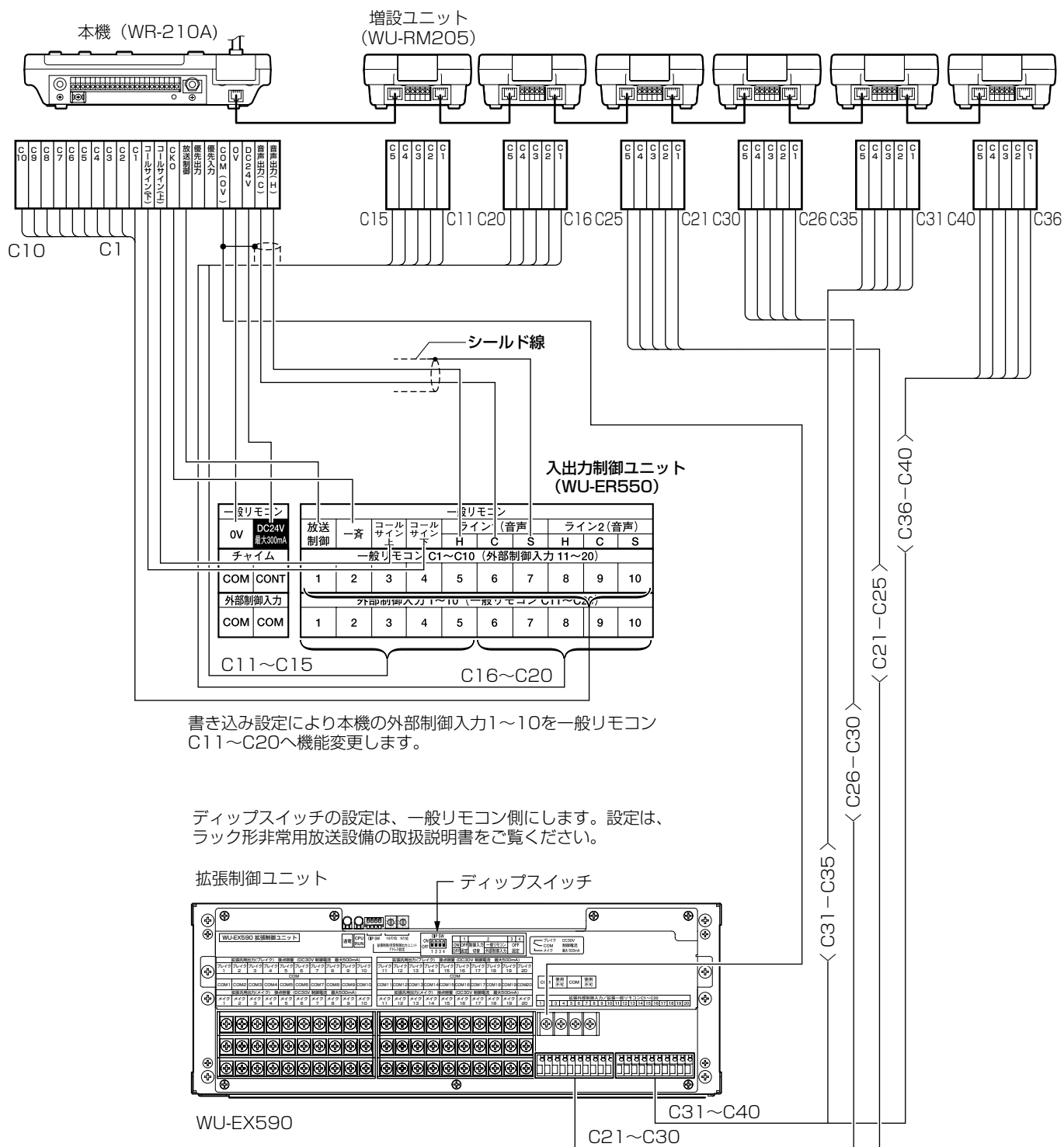
●増設ユニット (WU-RM205) を併用した回線増設のしかた

- ・リモコンマイクは、6台まで接続できます。それぞれのリモコンマイクに増設ユニット (WU-RM205) を6台まで接続できます。
- ・本図は、ラック形非常用放送設備へリモコンマイク4台と増設ユニットを各々のリモコンマイクに6台接続し、スピーカー回線を40回線制御する場合の例です。
- ・主装置側の取扱説明書も合わせてお読みください。
- ・2台以上のリモコンマイクを使う場合は、リモコンマイク間の優先設定をしてください。下図は、最上段のリモコンマイクを第1優先、最下段を最も優先度の低い設定とした接続例です。優先順位の設定の詳細は、33ページをご覧ください。



※1：リモコンマイクからの音声出力をラック形非常放送設備の入出力制御ユニットWU-ER550または、業務放送システムの入出力制御ユニットWU-KR600のリモコン音声入力ライン1または2へ接続します。各端子最大3台までの音声を接続することができます。

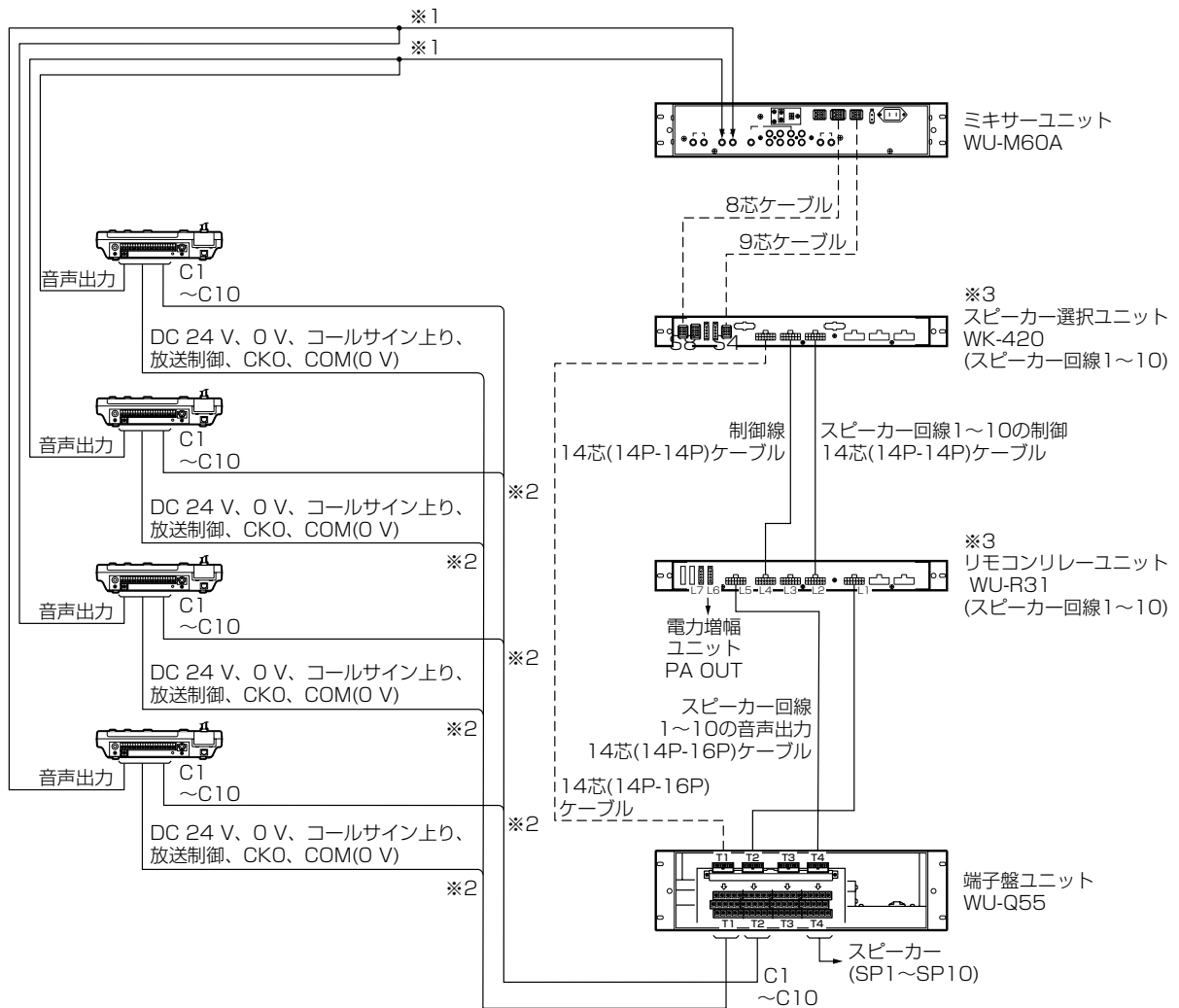
下図は左図システムにおいて、本機および増設ユニット6台（計7台1組）の接続図です。
2～4組部分の接続は、下図と同様で各端子に接続します。



※2：制御線、電源線で2本以上の線を同じ端子に接続する場合は、圧着スリーブなどで1本にまとめてから接続してください。

■ラック形音響装置 (WL-7100/7600) との接続

- ・本機 (WR-210A : 10局) を接続するには、ラック形音響装置側にリモコンリレーユニット (WU-R31) が必須です。
- ・本機を4台まで接続できます。
- ・優先順位は、ラック形音響装置の端子盤ユニット (WU-Q55) の端子接続で設定します。優先順位により本機音声出力の接続先であるミキサーユニット (WU-M60A) の音声入力先が変わります。本例では、優先順位3位の設定にしています。詳細はラック形音響装置の工事説明書をお読みください。
- ・コールサインを鳴らすには、ミキサーユニットにコールサインユニット (WU-Z05) の組み込みが必要です。

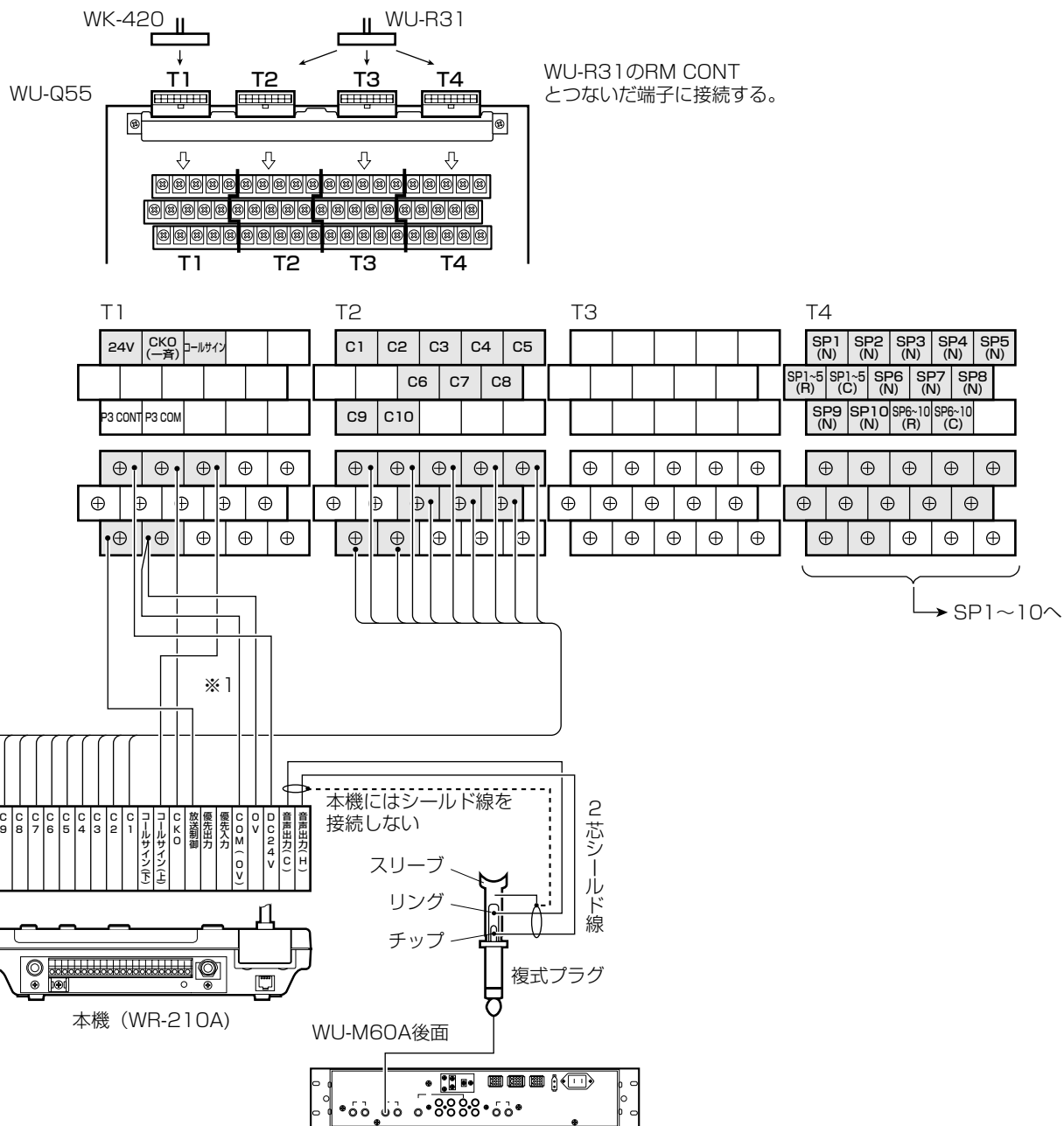


- ・本図は、リモコンマイク4台でスピーカー回線を10回線制御する場合の例です。
- ・本機でまとめ放送を行う場合のスピーカー回線の制約は、下記の通りです。

リモコンマイクの局数	まとめ放送	
	システム制御1個あたり	全システム制御合計
5局	最大5回線	最大20回線
10局		

- ※1 : リモコンマイクからの音声出力を1本にまとめるか、オーディオミキサーを介して接続してください。1本にまとめる場合は、2本の線を1本にまとめてから複式プラグの端子に接続してください。
- ※2 : 2本以上の線を同じ端子に接続する場合は、圧着スリーブなどで1本にまとめてから接続してください。
- ※3 : ・スピーカー制御回線は、最大20回線まで接続できます。スピーカー選択ユニット (WK-420) に追加できる増設用スピーカー選択ユニット (WK-430) は1台までです。
・リモコンリレーユニット (WU-R31) は、合計2台まで接続できます。

本図は左図システムにおいて、本機および増設ユニット2台（計3台1組）部分の接続図です。
2～4組部分の接続は、下図と同様で各端子に接続します。

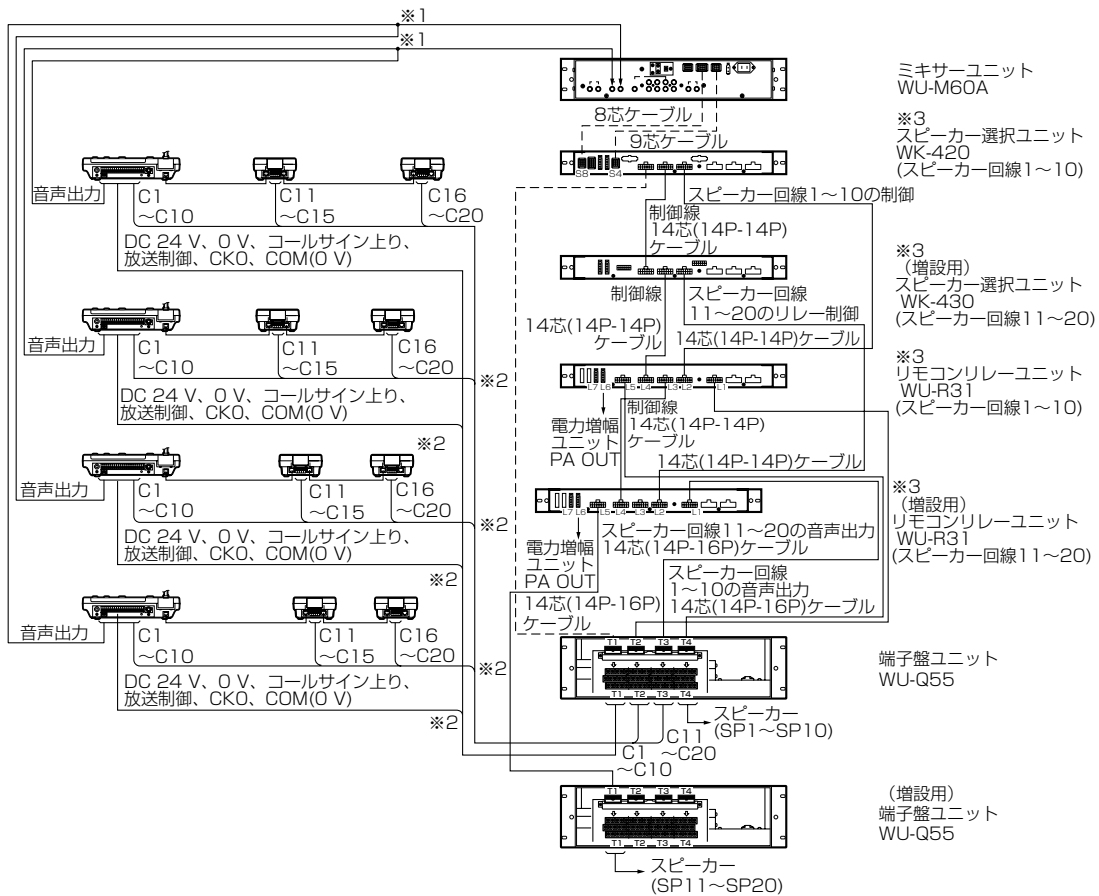


※1：リモコンマイクのCOM (0 V) 端子にも線材を接続してください。
制御線、電源線で2本以上の線を同じ端子に接続する場合は、圧着スリーブなどで1本にまとめてから接続してください。

■ラック形音響装置 (WL-7100/7600) との接続

●増設ユニット (WU-RM205) を併用した回線増設のしかた

- ・本機 (WR-210A : 10局) を接続するには、ラック形音響装置側にリモコンリレーユニット (WU-R31) が必要です。
- ・本機を4台まで接続できます。
- ・優先順位は、ラック形音響装置の端子盤ユニット (WU-Q55) の端子接続で設定します。優先順位により本機音声出力の接続先であるミキサーユニット (WU-M60A) の音声入力先が変わります。本例では、優先順位3位の設定にしています。詳細はラック形音響装置の工事説明書をお読みください。
- ・コールサインを鳴らすには、ミキサーユニットにコールサインユニット (WU-Z05) の組み込みが必要です。

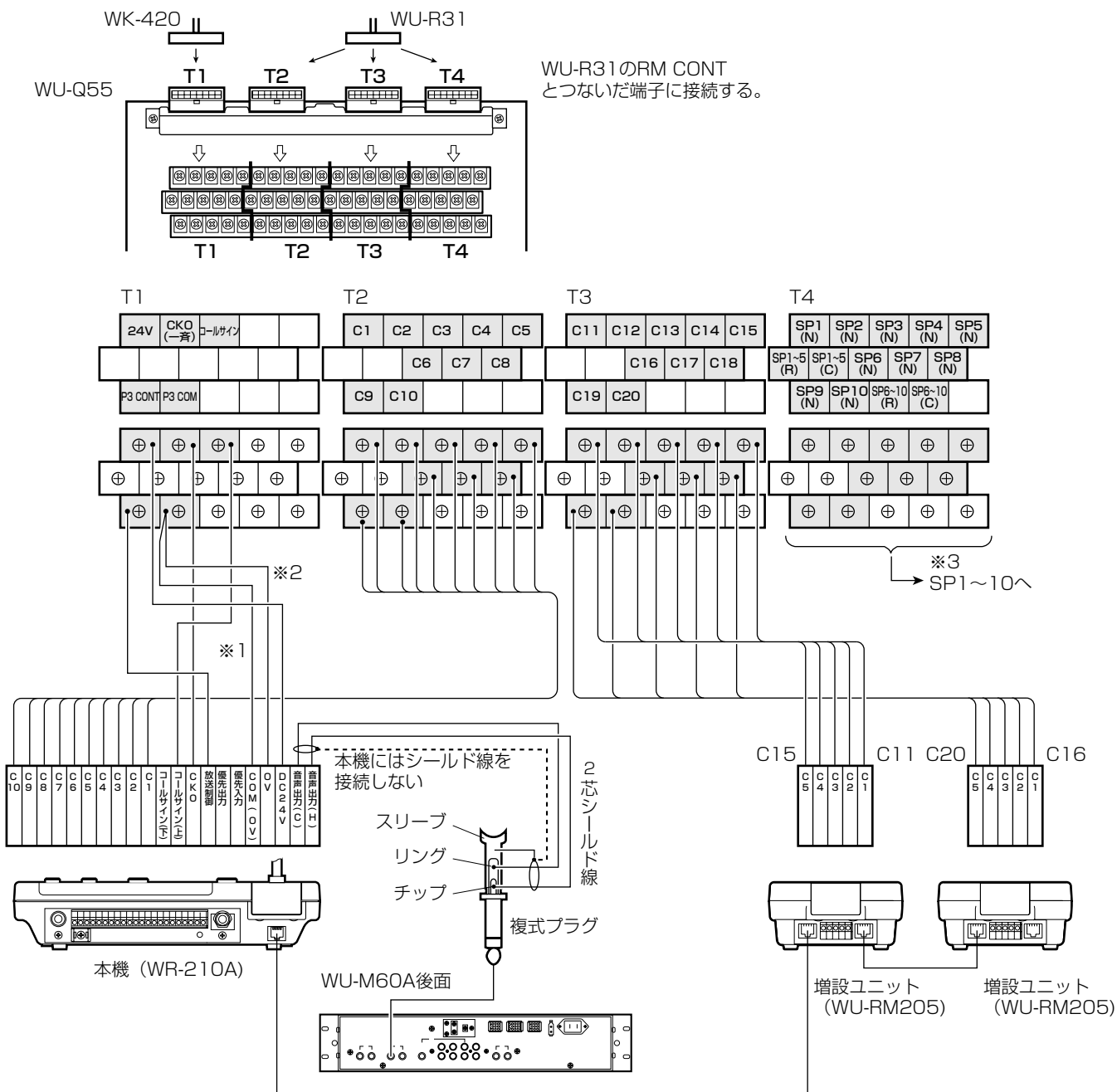


- ・本図は、4台のリモコンマイクと各リモコンマイクに増設ユニットを2台接続し、スピーカー回線を20回線制御する場合の例です。
- ・本機でまとめ放送を行う場合のスピーカー回線の制約は、下記の通りです。

リモコンマイクと増設ユニットの局数の合計	まとめ放送	
	システム制御1個あたり	全システム制御合計
5局	最大5回線	最大20回線
10局		
15局		
20局		

- ※1 : リモコンマイクからの音声出力を1本にまとめるか、オーディオミキサーを介して接続してください。1本にまとめる場合は、2本の線を1本にまとめてから複式プラグの端子に接続してください。
- ※2 : 音声出力の2本の線を1本にまとめてから接続してください。
- ※3 : ・スピーカー制御回線は、最大20回線まで接続できます。スピーカー選択ユニット (WK-420) に追加できる増設用スピーカー選択ユニット (WK-430) は1台までです。
・リモコンリレーユニット (WU-R31) は、合計2台まで接続できます。

本図は左図システムにおいて、本機および増設ユニット2台（計3台1組）部分の接続図です。
2～4組部分の接続は、下図と同様で各端子に接続します。

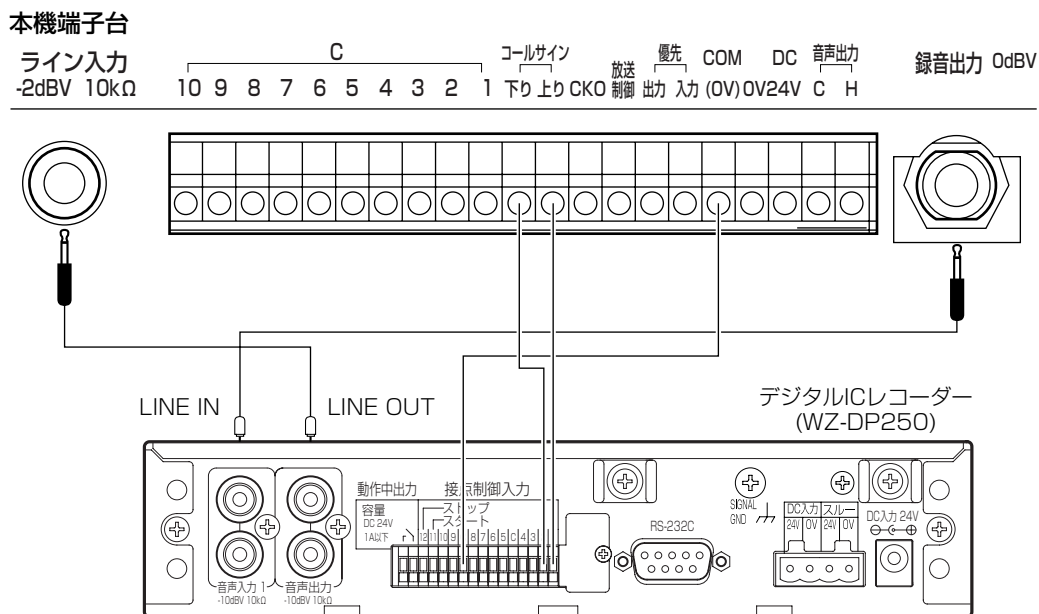


- ※1：リモコンマイクのCOM (0 V) 端子にも線材を接続してください。制御線、電源線で2本以上の線を同じ端子に接続する場合は、圧着スリーブなどで1本にまとめてから接続してください。
- ※2：スピーカー回線を20回線制御する場合の使用線材は、15ページをご覧ください。
- ※3：上図では、SP11～20の接続に必要な（増設用）リモコンリレーユニット（WU-R31）および（増設用）端子盤ユニット（WU-Q55）は省略しています。

■デジタルICレコーダーとの接続

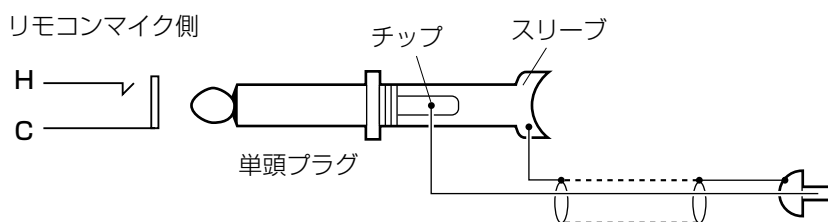
デジタルICレコーダー（WZ-DP250）に録音されたオリジナルのコールサインを、本機のコールサインボタンを押して放送することができます。

本機マイクからの音声をデジタルICレコーダーに録音することができ、録音した音声はデジタルICレコーダーを起動させて放送することができます。録音・再生のしかたはデジタルICレコーダーの取扱説明書をお読みください。

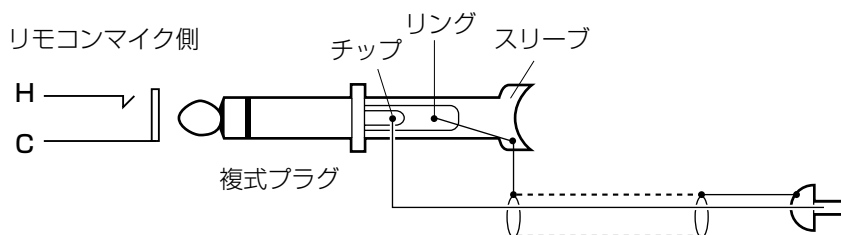


●ライン入力、録音出力への接続のしかた

- ・単頭プラグを使用して接続してください。



- ・複式プラグを使用する場合は、下図のように接続してください。



個別優先順位の設定

本機を複数台接続した場合に、リモコンマイク間で優先順位を設定することができます（個別優先順位）。

優先順位を設定すると優先順位の高いリモコンマイクから放送しているときは、優先順位の低いリモコンマイクからは放送できません。

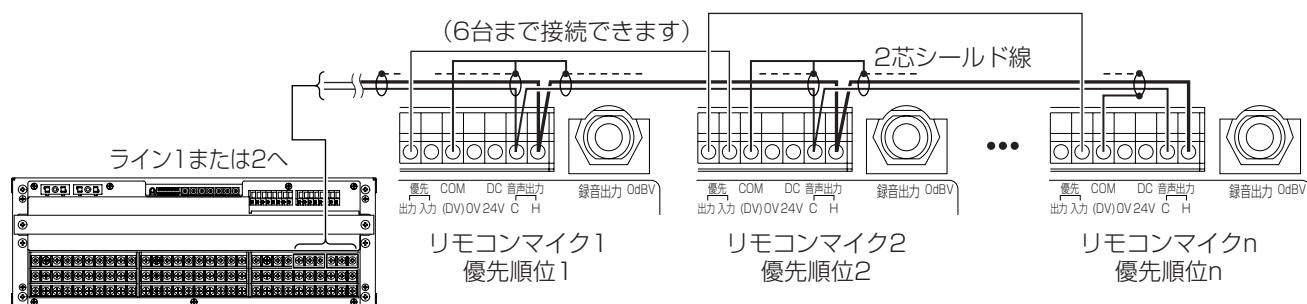
●接続設定のしかた

優先順位の高いリモコンマイクの優先出力から優先順位の低いリモコンマイクの優先入力に接続します。接続する主装置の供給電流容量により、接続可能台数が異なります。

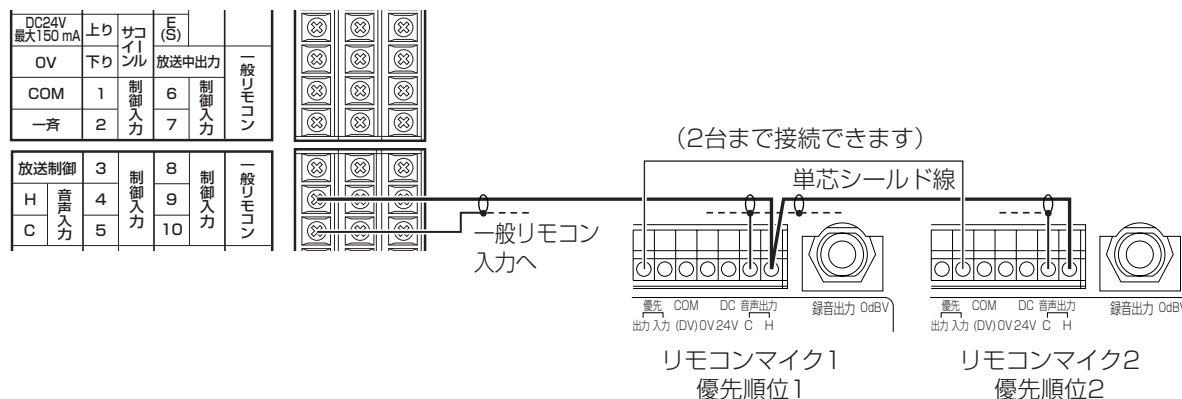
優先順位設定を行わない場合は、優先入力と優先出力間の接続はしません。

音声出力線は、2本の線を1本にまとめて接続をしてください。

ラック形非常用放送設備の入出力制御ユニット（WU-ER550）または業務放送システム入出力制御ユニット（WU-KR600）



壁掛形非常用放送設備

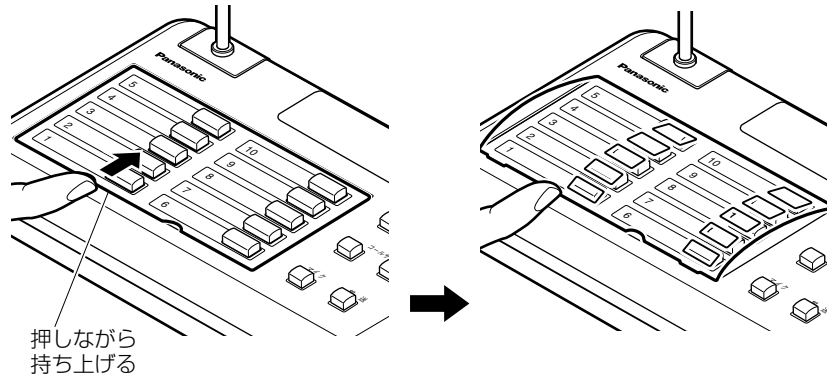


ラック形音響装置（WL-7100/7600）に接続したときは、個別優先順位の設定はできません。

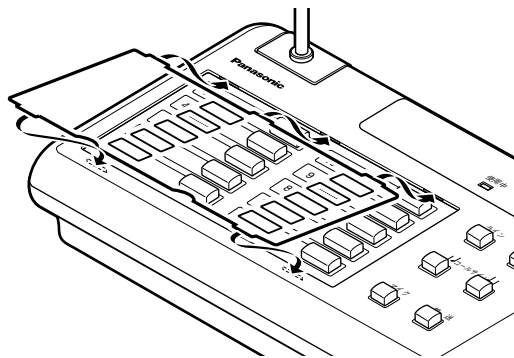
接続のしかた

■放送先名称の表示

- ・カードカバーの下側にある切り欠きに爪をかけ、押しながら持ち上げてカードカバーを外します。



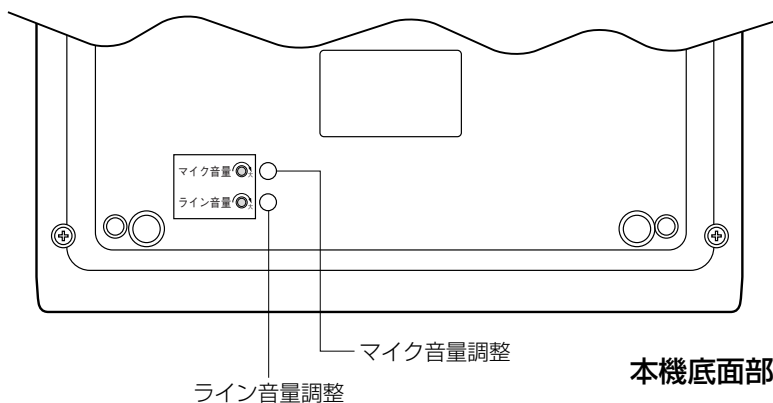
- ・表示カードを取り出し設定した放送エリア名、ブロック名を表示カードにラベルまたは手書きで表示します。ラベルで表示するときは、高さ9 mmのものを使用してください。
- ・表示後、表示カードを戻し、カードカバーの爪を表示部端面の孔に挿し込んで、取り付けます。



■音量の調整のしかた

本機底面の孔径はφ3 mmです。

調整は、本体底面に付属されている音量調整用小型ドライバーを使用して行ってください。



注意

- 調整時には、過大なトルク（4 N・cm以上）がかからないようご注意ください。

●マイク音量調整

フレキシブルマイクの入力音量を調整します。矢印方向で音量が増大します。 

●ライン音量調整

ラインの入力音量を調整します。矢印方向で音量が増大します。 

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
通電表示灯が点灯しない	<ul style="list-style-type: none">● 本機に電源が供給されていません。● 本機を接続している主装置側の電源を「入」にしてください。● 接続した主装置がラック形非常用放送設備、業務放送システムまたは壁掛形非常用放送設備のときは、個別放送ボタンを押して放送ボタンを押してください。● 一斉放送のときは、一斉ボタンを押してください。	7
放送ができない	<ul style="list-style-type: none">● 使用中表示灯が点灯していませんか？ ➡ 点灯している場合は、本機より優先順位の高いリモコンマイクから放送中です。 表示灯が消灯してから放送してください。	7, 8
	<ul style="list-style-type: none">● 放送中表示灯が点灯していますか？ ➡ 消灯している場合は、放送ボタンまたは一斉ボタンが押されていません。 放送ボタンまたは一斉ボタンを押してください。 ※一斉ボタンを押すと一斉放送になります。	8, 9

必要なとき

仕様

●基本仕様

電源	DC 24 V 45 mA以下 (即結端子台)
使用温度範囲	0 °C~+45 °C
寸法	幅250 mm 高さ55 mm 奥行き 155 mm (突起部およびフレキシブルマイクは除く)
質量	WR-210A : 約740 g WR-205A : 約720 g
仕上げ	上ケース OAアイボリー色 (マンセル5.5Y7.5/0.3近似色) 下ケース グレー色 (マンセルN5.5近似色)

●音声入出力

周波数特性	ライン 50 Hz~15 000 Hz -3 dB±2 dB
ひずみ率	1 %以下 (1 000 Hzにて)
マイク入力	単一指向性ECM内蔵フレキシブルマイク 長さ350 mm 入力感度 -49 dBV (出荷時 -44 dBV) SN比 50 dB以上
ライン入力	φ6.3 mm単頭フォーンジャック 不平衡 入力感度 -12 dBV (出荷時 -2 dBV) 入力インピーダンス 10 kΩ SN比 70 dB以上
音声出力	即結端子台 H,C,COM (0 V) 平衡 出力レベル: 0 dBV、適合負荷インピーダンス 600 Ω
録音出力	φ6.3 mm単頭フォーンジャック 不平衡 出力レベル: 0 dBV、適合負荷インピーダンス 10 kΩ

●制御出力 (即結端子台)

制御容量	最大 DC 30 V、DC 80 mA
放送制御	1回路
系統制御	WR-210A : 1~10回路 WR-205A : 1~5回路
一斉制御	CKO 1回路
コールサイン制御	上り・下り 各1回路
優先制御	優先入力、優先出力 各1回路

●その他

操作ボタン	個別、マイク、ライン、一斉、コールサイン上り/下り、放送
表示灯	通電表示、放送中表示、使用中表示
拡張I/Fコネクター	1

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このリモコンマイクの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

35ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。


ご連絡いただきたい内容

製品名	リモコンマイク
品番	WR-205A, WR-210A
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になります。

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WR-205A, WR-210A
	販売店名	電話 () -				

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

3TR004247GBA
ASe0206-6042